

平成30年度

# 当別町の教育

当別町教育委員会



# 目 次

教育目標	1
教育大綱	2
小中一貫教育と学校運営協議会 (CS)	4

## 平成30年度の教育

### 【教育計画・予算】

1 当別町教育推進計画	6
2 学力向上プラン	7
3 体力向上プラン	8
4 教育予算	9

### 【学校教育】

1 重点目標	12
2 小中学校現況	
(1) 児童生徒・教職員数及び施設の概況	12
(2) 各学校概況	
当別小学校	13
当別中学校	15
西当別小学校	17
西当別中学校	19
3 小中一貫教育	21
4 学校給食	23
5 保護者支援制度（学校教育）	
(1) 就学援助	24
(2) 特別支援教育就学奨励費	25
(3) 特別支援学級等通学援助費	25

### 【社会教育】

1 重点目標	26
2 社会教育関係事業	
(1) 学校教育との連携事業	27
(2) 生涯学習推進事業	28

(3) 読書活動推進事業	29
(4) 生涯スポーツ推進事業	30
3 社会教育施設	
(1) コミュニティーセンター・文化施設等	31
(2) 体育施設	32

### 【子育て・幼児教育】

1 重点目標	33
2 子育て・幼児教育関係事業	
(1) 特別保育事業	33
(2) 子ども発達支援センター事業	34
(3) 学童保育事業	34
(4) 子育て支援事業	35
3 子育て・幼児教育施設	36
4 保護者支援制度（子育て・幼児教育）	
(1) 私立幼稚園助成費	36
(2) 教育・保育施設等助成費	36

### 【資料】

1 教育委員	37
2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務	39
3 教育関係各種委員	40
(1) 当別町教育支援委員会	
(2) 当別町特別支援教育推進サポート組織	
(3) 当別町いじめ問題調査委員会学校評議員	
(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師	
(5) 当別町学校給食センター運営委員会	
(6) 当別町学校運営協議会	
(7) 当別町文化財調査審議会	
(8) 当別町社会教育委員会	
(9) 当別町子ども読書活動推進委員会	
(10) 当別町スポーツ推進委員会	
(11) 当別町少年指導センター	
(12) 当別町子ども・子育て会議	

(13) 当別町要保護児童対策地域協議会	
4 教育関係各種団体	46
(1) 当別町文化協会加盟団体	
(2) 当別町体育協会加盟団体	
(3) 当別町子ども会育成連合会加盟団体	
(4) 当別町女性団体連絡協議会加盟団体	
5 指定文化財一覧	48
6 教育の沿革	49
7 統計データ	55
(1) 小中学校施設の状況	
(2) 児童生徒数の推移	
(3) 各学校統合年の一覧	
(4) 就学援助の状況	
(5) 特別支援教育就学奨励費の状況	
(6) 特別支援学級等通学援助費の状況	
(7) コミュニティー関係及び体育施設利用状況	
(8) ふとみ保育所利用状況	
(9) 子ども発達支援センター利用状況	
(10) 私立幼稚園助成費	
(11) 教育・保育施設等助成費	

---

# 教育目標・教育大綱

---

- |   |                     |    |
|---|---------------------|----|
| 1 | 教育目標                | P1 |
| 2 | 教育大綱                | P2 |
| 3 | 小中一貫教育と学校運営協議会 (CS) | P4 |
-





## 当別町教育目標

強じんな精神とたくましい身体をつくる。

科学的な知識や技能を身につける。

豊かな情操の涵養と文化の創造につとめる。

自主的な判断力と社会的徳性をつちかう。

明るく豊かで住みよい郷土をきずく。

### 学校教育推進目標

- ひとりひとりを生かす創意ある学校経営。
- 自ら考え創造する力を育てる学習指導。
- 豊かな心で自ら実践する力を育てる生徒指導。
- 生命を尊ぶ態度と強い身体を育てる健康安全指導。

### 社会教育推進目標

- 自ら学び自ら活動し伝統を生かし当別二世紀をつくる町民の育成。
- 明日を創造する青少年をたくましく育てる社会教育の推進。
- 健康な心身をつくり明るいまちをつくる社会教育の推進。
- 楽しさと生きがいをつくり育てる社会教育の推進。

[昭和31年 制定]

## ➤ 2 教育大綱

### 当別町教育大綱

#### 1 策定の趣旨と位置づけ

この大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、本町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その根本となる方針を定めるものである。

なお、この大綱は、町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」において協議、調整し町長が定める。

#### 2 期 間

原則として平成27年度から平成30年度までの4年間とする。なお、必要に応じ、内容を見直すことができる。

#### 3 関連計画等

- (1) 当別町第5次総合計画（平成21年度から概ね10年）
- (2) 第4次当別町生涯学習推進計画（平成26年度から平成30年度）
- (3) 平成27年度町政執行方針
- (4) 平成27年度教育行政執行方針
- (5) 平成27年度当別町教育推進計画
- (6) 当別町小中一貫教育に関する取組基本方針（平成27年度以降）

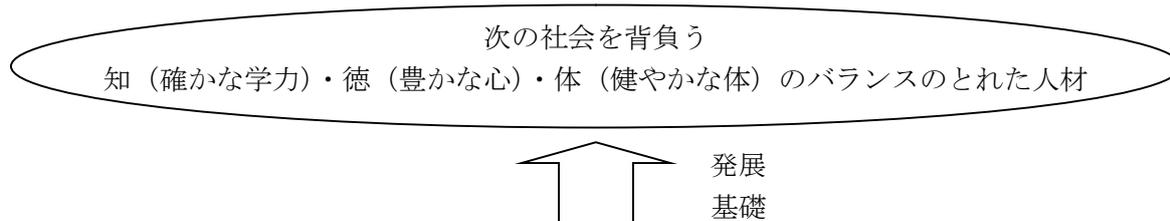
#### 4 基本方針

##### (1) 学校教育

変化の激しい時代を生きる子どもたちに、基礎基本をしっかりと身につけさせ、思考力や判断力を磨き、主体性をもって多様な人々と協働し、自らの手で自らの人生を切り開いていける力をつける教育を行う。

##### 【育てたい児童・生徒像】

次の社会を背負っていきける、知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）のバランスのとれた人材の育成を目標に、下記①～⑥の児童・生徒像を掲げる。



##### 【育てたい児童・生徒像～身につけさせたい力～】

- ①基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲  
～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- ②豊かな人間  
～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切にできる子ども～
- ③健康な心身  
～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- ④コミュニケーション能力  
～自分の考えや思いを伝え、聞くことで積極的に人間関係を築く力を持った子ども～
- ⑤プレゼンテーション能力  
～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- ⑥当別が好きな子ども  
～当別の歴史や文化、産業を知り、好きになり、当別を自分の原点とする子ども～

## (2) 社会教育

全ての町民が幸せを感じることでできる生涯学習社会の実現を目指す。

## (3) 地域の教育力の活用

学校と保護者、地域の連携・協働によって、子どもたちの学びを支援する。

# 5 施策

## (1) 学校教育

### ア) 幼・保・小の接続及び小・中一貫教育の推進

小・中9年の連続した教育課程を確立し、義務教育段階での学習内容の定着を確かなものとする。さらに応用力を高めるなど、子どもたちの多様な進路希望をかなえる質の高い学力をつける。また、円滑な義務教育への移行のため、幼稚園や保育所との接続を重視した施策を行う。

### イ) 国際理解教育の推進

グローバル化が進む中、豊かな国際感覚を身につけ、国際社会において主体的に行動できる能力（英語力等）の基礎をつくる。そのため ALT や ICT、地域人材を活用し、英語に触れ学ぶ機会を拡充していく。

また、小中一貫した教育課程を研究、実践する。

### ウ) 中等（後期）・高等教育機関との連携の推進

当別高校、北海道医療大学、近隣の北海道教育大学等の知的・人的・物的資源（学生や教員、施設設備）を活用した、専門的講義や実習、体験活動等幅広い教育を行う。

### エ) 教育環境の整備推進

校舎の老朽化対策を進め、学習環境の整備を図る。

## (2) 社会教育

### ア) 生涯学習の推進

住民ニーズに対応した学習機会の提供とともに、学習の成果が活用できる仕組みを構築し、生きがいややりがいにつながる事業を展開する。

### イ) 生涯スポーツの推進

町民がそれぞれの体力や年齢・目的に応じて、継続的にスポーツに親しむことができるよう、スポーツ環境の整備を行う。また、子どものスポーツ振興には特に留意し、体力向上や社会性、心の育成を進める。

### ウ) 文化・芸術活動の推進

文化・芸術に関する学習機会の提供とともに、町民の自主的な活動への支援に努め、文化・芸術の薫り高いまちづくりを進める。

### エ) 図書館機能の充実

当別町図書館像検討委員会からの答申をもとに、既存図書室の充実を図りながら、わが町にふさわしい図書館の実現に向け、関係機関との調整を進める。

また、子どもの読書活動については、その成長に大きな影響を及ぼすことから「第2次当別町子どもの読書活動推進計画」により、計画的に進める。

## (3) 地域の教育力の活用

ア) 保護者や地域住民の意見を学校運営に反映させる、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入を進める。

イ) 学校支援地域本部の普及促進により、学校の教育活動を支援する。

ウ) 地域の多様な人材を活用し、当別の自然を活かした体験や放課後、休日の教育支援を促進する。

エ) ア～ウのような社会全体で子どもたちの学びを支援する取り組みを通し、学校を核とした地域づくりを進める。

平成29年4月から町内すべての小・中学校で、「小中一貫型  
小学校・中学校」として、小中一貫教育がスタートしています。

「当別町小中一貫教育に関する取組基本方針」（平成27年3月）

小 中 一 貫 教 育 の 目 的

- 「発達段階を考慮し、義務教育9年間を見通した教育課程の構築」と「小・中学校教員それぞれが、義務教育9年間で児童生徒を育てる」という考えの下、小中一貫教育を実践していくことで、それぞれの学校での指導の効果を高め、社会で自立して生きていく上で必要な学力や体力、望ましい生活習慣や規範意識を確実に身に付けさせる。
- 家庭や地域と連携して、組織的・継続的な学校支援体制をつくることで、「家庭」、「地域」、さらに「学校」の教育力を高め、地域全体で子どもたちの9年間の学びを支えるまちづくりを実践する。

小中一貫教育でめざす方向性

めざす人間像

社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人

めざす児童生徒像

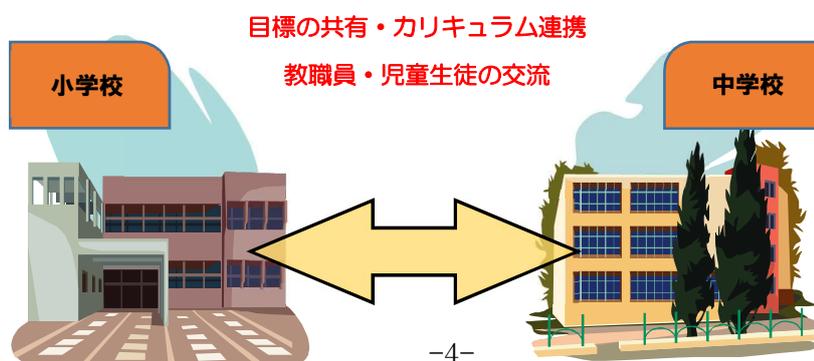
- 基礎基本と発展的学力、自ら学ぶ意欲 ～将来の夢や希望を実現するために努力し、行動できる子ども～
- 豊かな人間性 ～自分を大切に、人を大切に、未来を見つめ当別を大切に出来る子ども～
- 健全な心身 ～未来の当別を支える健全な心身を持つ子ども～
- コミュニケーション能力 ～自分の考えや思いを伝え、また聞くことで、積極的に人間関係を築く力を持つ子ども～
- プレゼンテーション能力 ～あらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で表現できる子ども～
- 当別が好きな子ども

めざす学校像

- 上位の学校へのスムーズな移行や、「ずれ」や「逆転」のないスムーズな学年移行が可能となる教育を行う学校
- その学年で付けるべき力を全員に付けさせることができる学校
- 地域や保護者の思いが生かされ共に歩める学校
- 魅力が体感できる教育環境の下、先進的な取組を進める学校

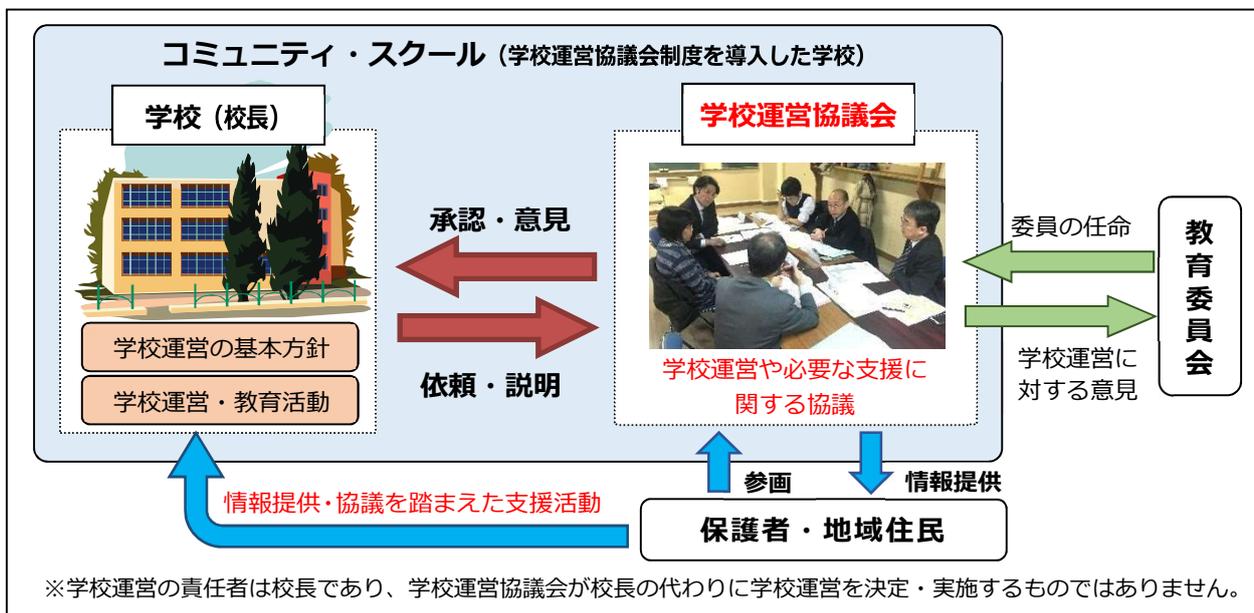
めざす地域像

- 学校がまちづくりの核である地域
- 家庭教育や学校教育を支援し、共に育む環境のある地域
- 子どもたちと人々の心温まるふれあいのある地域
- 地域の誇りや愛着の心を子どもたちに伝えていく地域



# 地域とともにある学校 = 学校運営協議会制度

コミュニティ・スクールは、任命された保護者や地域の方々が一定の権限を持って学校運営に参画することで「地域とともにある学校」づくりを推進する仕組みです。



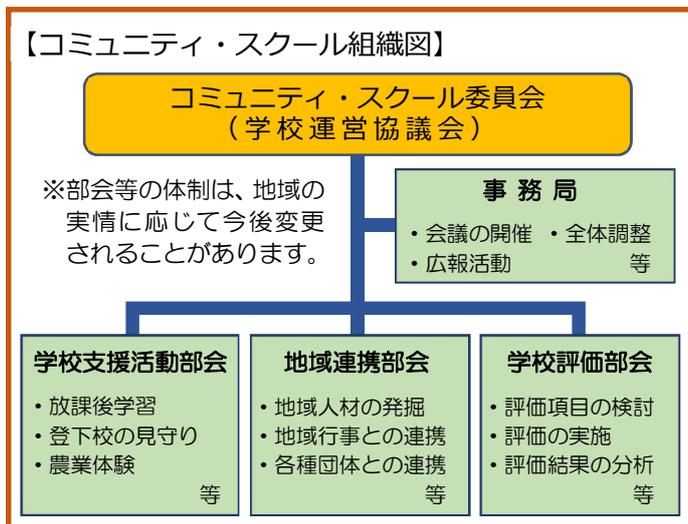
## 義務教育 9 年間の学びの充実のために

小中一貫教育の充実のためには、教育課程だけでなく、子どもたちの家庭や地域の中での学び、発達段階に応じた心の成長等も一緒に考える必要があります。そこで、保護者や地域住民と子どもたちの義務教育 9 年間について話し合う場の設置が必要です。

学校運営協議会では、小中一貫教育を地域全体で支えるため、学校支援に関する方向づけや調整等の協議を行うことで、学校運営全般への参画を促します。

当別町では、平成 29 年度に各中学校区 (当別地区・西当別地区) に学校運営協議会が設置されました。基本的な活動として以下の 2 点を行いながら、学校支援活動や地域連携活動等、段階的に発展させ、「地域とともにある学校」づくりを推進します。

- (1) 校長が作成する「学校運営に関する基本方針」を承認する
- (2) 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べる





---

## 教育計画・予算

---

- 1 当別町教育推進計画 P6
  - 2 当別町学力向上プラン P7
  - 3 当別町体力向上プラン P8
  - 4 教育予算 P9
-





➤ 2 平成30年度当別町学力向上プラン

【目標】 全国学力・学習状況調査で全教科全国平均以上をめざす



【現状】  
 □小学校においては、国語 A、算数 A、国語 B で改善がみられ、全国との差が0.5ポイントに縮まっている。  
 □中学校では、数学 B が全国平均を上回り、その他の教科は、下回っているが、全国との差は、確実に縮まっている。

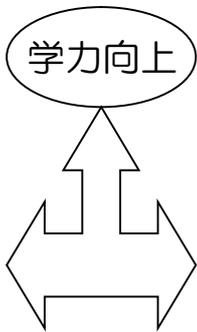


具体的な方策

学 校

教育委員会

- 教科系統表による9年間を見通した指導
- 一貫推進講師の有効な活用
- 家庭学習の定着とその内容の工夫
- 学習規律の徹底を柱とした支持的風土づくり
- 学校改善プランの着実な実践
- 下位層の底上げのために、計画的な習熟度別・少人数指導
- 小中の研究計画を9年間見通したものに改め、合同で研究・研修を進める
- 「主体的、対話的で深い学び」の視点を入れた授業づくり



- 小中一貫教育の推進
- 小中一貫教育推進講師の配置
- 小中の乗り入れ授業の指導
- ICT 機器の活用に関する研修機会の整備
- 指導工夫改善に関わる指導
- 放課後学習会や土曜学習会の充実
- 長期休業中の学習支援の充実
- 読書活動の充実
- CS の活用・支援
- 教師の資質向上のための研修機会の充実
- 小学校英語やプログラミング学習に対応できるように、人材の発掘、活用を図る

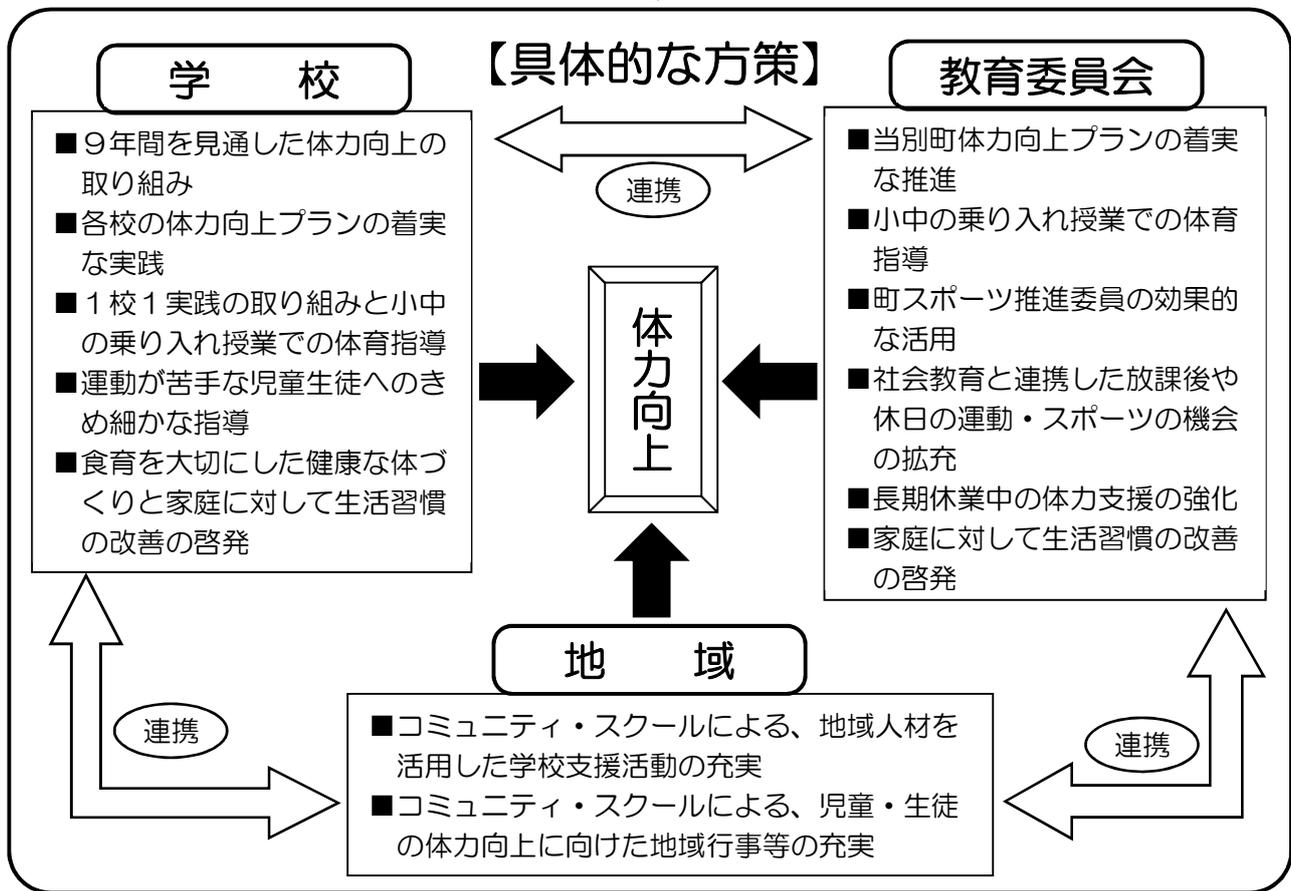
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
改善プランの見直し・実践						改善プランの着実な実践						
改善プランの見直し						全国学テ				中間評価	夏季休業	

### ➤ 3 平成30年度当別町体力向上プラン

【目標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査で体力合計点の全国平均をめざす

【課題】

- 小・中学校ともに、体力・運動能力に男女差が大きく、女子の体力向上、運動・スポーツへの意識の向上が課題である。
- 小・中学校ともに、家でのテレビやDVD、ゲーム機、携帯、パソコンなどの画面を見ている時間が、全国平均を大きく上回っていることから、生活習慣の改善が課題である。



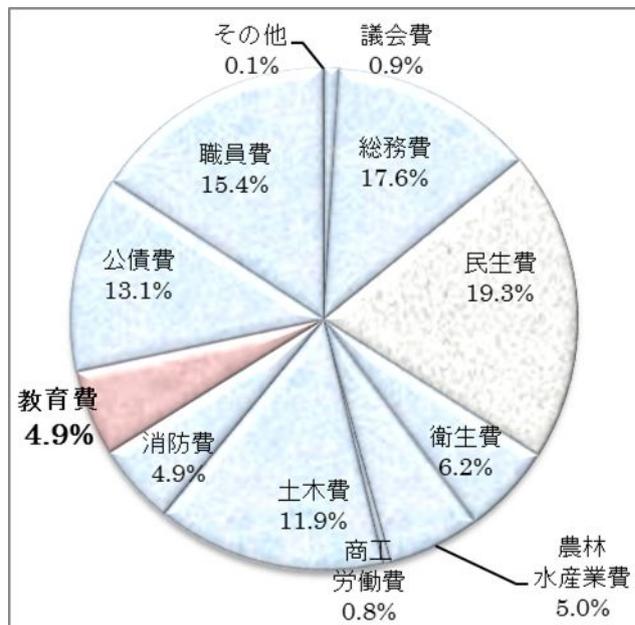
【年間計画】

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
学校	各学校の体力向上プランの見直し		準備	体力調査実施			結果分析・評価					
教委	体力向上プラン作成		学校への支援								結果分析・評価	
	体力向上プランの着実な実践（1校1実践 等）											

## ➤ 4 教育予算

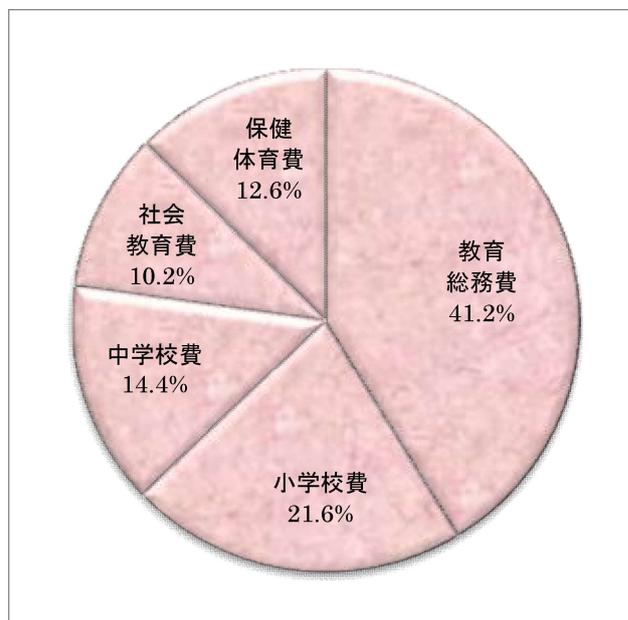
### 1 平成30年度 一般会計当初予算額 92億4,905万円

区分	金額(千円)	構成比(%)
議会費	88,200	0.9
総務費	1,213,440	17.6
民生費	1,846,461	19.3
衛生費	534,347	6.2
農林水産業費	550,754	5.0
商工労働費	44,067	0.8
土木費	1,354,304	11.9
消防費	482,540	4.9
<b>教育費</b>	<b>513,781</b>	<b>4.9</b>
公債費	1,162,661	13.1
職員費	1,453,491	15.4
その他	5,005	0.1
総額	9,249,051	100



### 2 平成30年度 教育費当初予算額 5億1,378万円

区分	金額(千円)	構成比(%)
教育総務費	211,958	41.2
小学校費	110,886	21.6
中学校費	73,824	14.4
社会教育費	52,353	10.2
保健体育費	64,760	12.6
総額	513,781	100



(参考)

民生費当初予算額(子ども未来課所管分)

区分	金額(千円)
児童福祉費	294,814

### 3 教育予算の推移

年度	一般会計予算	増減率	教育費予算	増減率	構成比
平成26年度	7,715,027	2.5	420,603	▲2.0	5.5
平成27年度	9,415,656	22.0	443,840	5.5	4.7
平成28年度	8,761,182	▲7.0	464,729	4.7	5.3
平成29年度	9,347,897	6.7	461,228	▲0.8	4.9
平成30年度	9,249,051	▲1.1	513,781	11.4	5.6

※各年度当初予算額

## 4 主な事業

《学校教育課所管》

### 小中一貫教育推進事業 (9,623 千円)

義務教育9年間の学びの連続性を踏まえた教育課程による指導のほか、小学校高学年の中学校登校や中学校教員の小学校への乗り入れ授業等、児童生徒・教職員の交流を促進し、「小中一貫教育でめざす人間像」である「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人材」の育成を図る。

また、児童生徒の学びの連続性を確保するため、「一貫教育推進講師(非常勤)」を各中学校区に配置し、小学校及び中学校での教科指導を実践し、学力の向上を図る。

### 特別支援教育支援員配置事業 (16,180 千円)

小・中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、特別な支援を必要とする児童生徒に対し、個別な声掛けや学習支援を行うため、平成30年度は、すべての小・中学校に「特別支援教育支援員」を2名ずつ拡大配置し、個々の基礎学力の定着を図り、学習環境の充実を図る。

### コミュニティ・スクール運営事業 (707 千円)

小中一貫教育を地域全体で進めるため、学校・保護者・地域住民等で構成する「学校運営協議会」(コミュニティ・スクール)による「地域とともにある学校」づくりを推進する。

### 小中学校芸術鑑賞事業 (500 千円)

児童生徒の豊かな感性と創造性・思考力・コミュニケーション能力等の育成を図るため、小中学校で芸術鑑賞を行う。

### 各小中学校英会話指導助手配置事業 (8,343 千円)

英語教育の充実のため、引き続き小学校と中学校の全学年に外国人講師による英会話指導助手を派遣する。

また、平成32年度から新たな学習指導要領の実施により小学校5、6年生の外国語教育が教科化されることを見据え、町の独自施策として、新学習指導要領の授業時数及び内容を先行実施する。これに合わせて、外国人講師による英会話指導助手の派遣も、小学校3、4年生は年間10時間から35時間へ、小学校5、6年生は年間35時間から70時間に拡大し実施する。

### ICTを活用した教育環境向上事業 (1,720 千円)

授業の工夫・改善を図るため、未整備の小学校1年生にICT機器(電子黒板・実物投影機)を配置する。

### 学校施設改修事業 (25,400 千円)

老朽化している学校施設の教育環境改善のため、西当別小学校の屋根を改修する。

### 学校給食センター改修事業 (32,379 千円)

機械設備及び厨房設備を計画的に改修することにより、町内小中学校の児童生徒へ安定した給食を提供する。

《社会教育課所管》

学校を核とした地域力強化プラン事業 (3,291 千円)

地域住民等がボランティアとして参画し、様々な学校の支援活動を行う学校支援地域本部事業や児童・生徒の家庭学習支援として放課後学習会、土曜教室や小学生が英語に慣れ親しむ事業を継続実施して、子ども達の教育の充実を図る。実施経費は、国・道・町がそれぞれ1/3を負担する。

社会体育施設等指定管理事業 (42,074 千円)

民間活力を生かし、住民サービスの向上を図るため、当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター及び当別小学校水泳プールについて指定管理者制度を導入する。

総合体育館施設改修事業 (8,052 千円)

住民サービスの向上を図るため、当別町総合体育館の男子・女子トイレの和式トイレを、洋式トイレへ改修する。

《子ども未来課所管》

子育て支援センター運営事業 (2,940 千円 (児童福祉費))

乳児から就学前の子どもと保護者を対象に、子育て世代の交流の促進、子育て関連情報の提供、子育て相談等を実施しており、他世代との交流を推進することで、地域との協働により子育ての不安感の緩和や子どもの健やかな育ちを支援する。

放課後児童対策事業 (子どもプレイハウス) (18,137 千円 (児童福祉費))

就労等の理由により家庭に保護者のいない小学生に対し、放課後、長期休業日等における保育サービスの提供及び学習支援の実施により、児童の健全育成及び学力向上を図り、子育て支援の充実に寄与する。

教育・保育施設等給付事業 (138,056 千円 (児童福祉費))

子ども・子育て支援法に基づく教育・保育給付として、教育・保育施設等の利用者に対し費用の一部を負担することにより利用の促進へと繋がり、幼児教育の推進及び教育・保育サービスの充実を図る。

ふとみ保育所業務民間委託事業 (102,759 千円 (児童福祉費))

ふとみ保育所の運営については、当別町幼稚園・保育所計画に明記されているとおり、多様化する教育・保育ニーズに迅速かつ柔軟に対応するため民間活力を導入し、地域のニーズに合わせた保育サービスの充実を図る。(公設民営方式)

子ども発達支援センター運営事業 (19,941 千円 (児童福祉費))

心身の発達に特性を持つ児童に対し、利用者の多様なニーズ、生活環境及び対象児童の特質に配慮した療育の提示、指導等の療育支援を行う。療育支援にあっては、関係機関等とも連携し、効果的な支援体制の構築に努め、早期療育の推進と強化を図る。

---

# 学校教育

---

1	重点目標	P12
2	小中学校現況	P12
3	小中一貫教育	P21
4	学校給食	P23
5	保護者支援制度	P24

---



➤ 1 重点目標

- 1 学びの連続性を重視した学力向上の取組み
- 2 小学校外国語の先進的取組み
- 3 地域や学校運営協議会、高校、大学との連携・協力
- 4 学習環境の整備と義務教育学校構想
- 5 当別らしい食育の展開

※詳細は、P6「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 小中学校現況

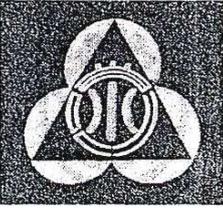
1 児童生徒・教職員数及び施設の概況

平成30年5月1日現在

区分 学校名		学級数 (学級)		児童生徒数 (人)								教職員数 (人)					
		普通	特別 支援	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特別 支援	計	校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	事 務 職 員	栄 養 教 諭
1	当別小学校	11	4	35	39	56	59	45	71	8	313	1	1	22	1	2	1
2	西当別小学校	11	2	42	32	49	50	42	44	7	265	1	1	16	1	1	
小 学 校 計		22	6	77	71	105	109	87	115	15	578	2	2	38	2	3	1
1	当別中学校	6	2	64	67	77				4	212	1	1	16	1	1	
2	西当別中学校	6	2	44	50	53				3	150	1	1	13	1	1	
中 学 校 計		12	4	108	117	130				7	362	2	2	29	2	2	
合 計		34	10							22	940	4	4	67	4	6	1

2 各学校概況

当別小学校 (中学校併設型小学校)

<p>校章・所在地</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>〒061-0222 北海道石狩郡当別町元町 102 番地 電話 : 0133-23-2102 FAX: : 0133-23-3760</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【校章の意味】</b> 中央に当別小の文字。3つの輪は考える〈智〉、明るい〈徳〉、元気な〈体〉の調和を表す。</p> </div> </div> </div>		
<p>校歌</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>二 由緒も深き 開拓の 先人の意気しのびつつ 心をつくし 身をつくし 誠の道にはげみなん</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>一 紫雲にけぶる 阿蘇の山 麓をめぐる当別の 流れつきせぬ 学びやに 至誠の華は香るなり</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: right;"> <p>作詞 大橋 渉 作曲 末武 義雄</p> </div> </div>		
<p>沿革の概要</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>明治 5年 鮎田如牛が当別町において開塾 6年 「当別教育所」と改称 39年 校舎現在地移転 43年 北海道庁官より教育の侯に対し選賞 大正 9年 校舎新築 昭和 22年 6・3制により「当別小学校」と改称 39年 特殊学級「いなほ」1学級認可 41年 石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成 (当別学校プール1号) 44年 体育館完成 47年 新校舎完成、落成式挙行 開校100周年記念式典挙行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈 52年 学校基本調査について文部大臣表彰 53年 学校の教育目標改訂 57年 創立110周年記念式典挙行、 PTA記念事業により遊具施設設置 58年 石狩地区小学校放送教育研究指定校 59年 石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催 63年 「ことばの教室」1学級認可</p> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;"> <p>平成 7年 学校給食開始 12年 コンピュータ教室設置 14年 開校130周年記念写真集作成 石狩管内教育機器連盟研究大会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 ことばの教室が通級指導教室となる 17年 オヤジの会発足 24年 体育館改築 開校140周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成) 27年 電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会 28年 弁華別小学校閉校により本校に統合 29年 小中一貫教育開始 全国書道コンクール団体優勝 (17年連続28回目) 全国学生書道展覧会団体優勝 (23年連続33回目)</p> </td> </tr> </table>	<p>明治 5年 鮎田如牛が当別町において開塾 6年 「当別教育所」と改称 39年 校舎現在地移転 43年 北海道庁官より教育の侯に対し選賞 大正 9年 校舎新築 昭和 22年 6・3制により「当別小学校」と改称 39年 特殊学級「いなほ」1学級認可 41年 石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成 (当別学校プール1号) 44年 体育館完成 47年 新校舎完成、落成式挙行 開校100周年記念式典挙行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈 52年 学校基本調査について文部大臣表彰 53年 学校の教育目標改訂 57年 創立110周年記念式典挙行、 PTA記念事業により遊具施設設置 58年 石狩地区小学校放送教育研究指定校 59年 石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催 63年 「ことばの教室」1学級認可</p>	<p>平成 7年 学校給食開始 12年 コンピュータ教室設置 14年 開校130周年記念写真集作成 石狩管内教育機器連盟研究大会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 ことばの教室が通級指導教室となる 17年 オヤジの会発足 24年 体育館改築 開校140周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成) 27年 電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会 28年 弁華別小学校閉校により本校に統合 29年 小中一貫教育開始 全国書道コンクール団体優勝 (17年連続28回目) 全国学生書道展覧会団体優勝 (23年連続33回目)</p>
<p>明治 5年 鮎田如牛が当別町において開塾 6年 「当別教育所」と改称 39年 校舎現在地移転 43年 北海道庁官より教育の侯に対し選賞 大正 9年 校舎新築 昭和 22年 6・3制により「当別小学校」と改称 39年 特殊学級「いなほ」1学級認可 41年 石狩教育研究会特別活動中心校指定 プール完成 (当別学校プール1号) 44年 体育館完成 47年 新校舎完成、落成式挙行 開校100周年記念式典挙行、 記念公開研究会開催、 記念事業協賛会より中庭造成寄贈 52年 学校基本調査について文部大臣表彰 53年 学校の教育目標改訂 57年 創立110周年記念式典挙行、 PTA記念事業により遊具施設設置 58年 石狩地区小学校放送教育研究指定校 59年 石狩管内教育実践表彰受賞 石狩地区小中学校放送教育研究大会開催 63年 「ことばの教室」1学級認可</p>	<p>平成 7年 学校給食開始 12年 コンピュータ教室設置 14年 開校130周年記念写真集作成 石狩管内教育機器連盟研究大会開催 石狩管内教育実践奨励表彰受賞 ことばの教室が通級指導教室となる 17年 オヤジの会発足 24年 体育館改築 開校140周年記念事業 (全校集合写真・記念バザー・ 記念集会・記念誌作成) 27年 電子黒板・書画カメラ設置 当教研学校課題研究発表会 28年 弁華別小学校閉校により本校に統合 29年 小中一貫教育開始 全国書道コンクール団体優勝 (17年連続28回目) 全国学生書道展覧会団体優勝 (23年連続33回目)</p>		
<p>教育目標</p>	<p>一人一人の子どもを大事にし、大事にされ合う人間関係の中で、平和で幸福な社会の担い手として、小中9年間を見通した心身の調和のとれた人間性豊かな子どもを育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 知性をみがく子ども (よく考える子ども) 〈知〉</li> <li>◇ 心豊かな子ども (心のゆたかな子ども) 〈情〉</li> <li>◇ 意志の強い子ども (さいごまでやりぬく子ども) 〈意〉</li> <li>◇ からだのじょうぶな子ども (強いからだの子ども) 〈体〉</li> </ul>		

<p>経営の重点</p>	<p>◎知・徳・体の教育活動をバランスよく実施し、総合的に子供たちを伸ばす  ○学び方を身に付け、思いやりの心を持った心身ともに健康な子  ◆ ドリカムプロジェクトによる確かな学力の定着・向上（かしこく）  ◆ 個々を伸ばし、豊かな人間性・社会性の育成（やさしく）  ◆ 命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進（たくましく）</p>																																													
<p>研究主題</p>	<p>《 研 究 主 題 》  生き生きと学び、表現できる児童・生徒の育成  ～学びの連続性と指導の継続性を重視して～</p>																																													
<p>特色ある教育活動</p>	<p><b>1 確かな学力の定着・向上の取組</b>  「基礎学力」と「続ける力」を育てるドリカムプロジェクトにより、絶対に身に付けさせる基礎学力を明確化し、全学級で共通した取組を行う。</p> <p><b>2 小中9年間を見通した小中一貫教育の取組</b>  小中で目指す児童生徒像の共有化を図りながら、9年間を見通した指導計画の作成、小中合同研修会の開催、乗り入れ授業等の取組を行う。</p> <p><b>3 読書活動の推進</b>  朝読書（全校一斉）をはじめ、読み聞かせ・読み語りのボランティアの協力も得ながら読書に親しませることによって、豊かな心を育て、確かな学力の基盤を整える。</p> <p><b>4 書道教育の推進</b>  週1回の朝書道では、筆ペンや硬筆で名前や名文を練習する。また、毎月「書道の週間」を設け、全校一斉に書道に親しむ活動を行う。</p>																																													
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>学年</td> <td>1年</td> <td>2年</td> <td>3年</td> <td>4年</td> <td>5年</td> <td>6年</td> <td>特別支援学級</td> <td>合計</td> </tr> <tr> <td>学級数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>14</td> <td>20</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>22</td> <td>32</td> <td>6</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>23</td> <td>39</td> <td>2</td> <td>166</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>35</td> <td>39</td> <td>56</td> <td>59</td> <td>45</td> <td>71</td> <td>8</td> <td>313</td> </tr> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	1	2	2	2	2	2	4	15	男子	14	20	25	28	22	32	6	147	女子	21	19	31	31	23	39	2	166	合計	35	39	56	59	45	71	8	313
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	1	2	2	2	2	2	4	15																																						
男子	14	20	25	28	22	32	6	147																																						
女子	21	19	31	31	23	39	2	166																																						
合計	35	39	56	59	45	71	8	313																																						
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <p>校長 渡 邊 久 徳  教頭 關 口 涼</p> <p>教職員数 教諭22名 養護教諭1名 栄養教諭1名 事務職員2名  非常勤講師1名 小中一貫教育推進講師1名 特別支援学級介助員1名  特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																																													

# 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



〒061-0205  
 北海道石狩郡当別町下川町 125 番地  
 電話：0133-23-2158 FAX：0133-23-2956

**【校章の意味】**

当の大文字で囲み、全体を雪の結晶とし、たくましく生きる力を表す。

校歌

<p style="text-align: center;">三 開拓の祖 遠くして 愛と真の 血を伝う 男子女子 手を執りて 結ぶ友垣 誇りあり 吾ら讃えん ああ我が郷土</p>	<p style="text-align: center;">二 白雪映える 阿蘇岩の 高嶺に想う あけくれば 真理さわめて らんまんの 花咲かせてん 念願あり 文化の殿堂 ああ我が学舎</p>	<p style="text-align: center;">一 緑風匂う 石狩の 愛の園生に 生い立ちて 光あたらしき 日の本の 使命に生きん 祈りあり 平和の先駆 ああ我が学友</p> <p style="text-align: right;">作詞 井上 治雄 作曲 藤上 定一</p>
--	---	--

沿革の概要

<p>昭和 22年 当別村立当別中学校が開校                  校章制定                  25年 校歌制定                  独立校舎に移転(旧競馬場跡)                  27年 中小屋分校が独立                  30年 三番川、四番川分校が本校の分校になる                  32年 同窓会発足                  開校10周年記念式典                  33年 三番川、四番川分校が独立                  36年 当別川が氾濫し校舎床上浸水                  41年 ときわ学級開設(特殊学級)                  42年 開校20周年合同記念式典                  44年 牛乳給食開始                  新校舎完成竣工・移転完了                  48年 スクールバス運行開始                  52年 開校30周年記念式典                  58年 校舎改築工事                  平成 4年 石狩管内教育実践奨励賞受賞                  8年 学校給食開始                  9年 スクールカウンセラー配置</p>	<p>平成 9年 当別中学校開校50周年記念式典                  15年 第3回東日本学校                  吹奏楽コンクール金賞(C編成)                  17年 除雪ボランティア善行顕彰を受賞                  19年 石教研学校課題研究発表                  20年 剣道部女子全道大会出場                  21年 相撲部全道大会準優勝、                  剣道部女子全道大会出場                  22年 相撲部全道大会準優勝                  当別町140年記念パレード、                  記念式典参加                  23年 校舎・体育館耐震化工事完了                  バックネットの改修工事完了                  24年 JR学園都市線電化開業記念イベント参加                  25年 東生徒トイレ改修                  26年 西生徒トイレ改修                  27年 電子黒板・書画カメラ設置                  28年 弁華別中学校閉校により本校に統合                  29年 小中一貫教育開始                  剣道部全道新人戦準優勝</p>
--	--

教育目標

- ◇ 真剣に学び 自己を高めよう 【知】
- ◇ 協力しあい 責任ある行動をとろう 【徳】 精神
- ◇ 自ら実行し 最後までやりぬこう 【意】 「優しく 強く」
- ◇ 美しいものに感動できる豊かな心をもとう 【徳】 (昭和63年制定)
- ◇ 身体を鍛え たくましくなろう 【体】

経営の重点	<p>【主体性を育み、9年間を見据えた確かな学力の定着と向上を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中一貫の考えに立ち、9年間を見通した学習指導の充実</li> <li>◆ 基礎・基本習得と課題解決に向け「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善</li> <li>◆ 生徒一人ひとりの学習状況を的確に捉え、個に応じたきめ細かな指導の充実</li> <li>◆ 個々のニーズに応じた特別支援教育の充実</li> </ul> <p>【自主・自立を身に付け、豊かな人間性・社会性の育成を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 挨拶、言葉遣い、マナーなど、基本的な生活習慣の徹底、自己指導能力の育成</li> <li>◆ 道徳指導の充実、内面に迫る道徳性を育てた自尊感情・自己肯定感の育成</li> <li>◆ いじめ・不登校未然防止・早期解決、寄り添う生徒指導に努めた情報の共有化</li> <li>◆ 児童会との連携、体験活動・ボランティア活動の充実と地域発進力の強化</li> </ul> <p>【命を育む健康・体力の増進、安全教育の推進を図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 小中一貫の考えに立った児童生徒の体力の実態把握と体力向上の取組</li> <li>◆ 食育の授業や健康相談などを通じた健康教育の推進</li> <li>◆ 様々な危険を予測し、回避力を育成する安全・防犯指導及び訓練の実施</li> </ul>																														
研究主題	<p>《 学 校 課 題 》 自ら進んで主体的に活動する生徒の育成</p> <p>《 研 究 主 題 》 「生き生きと学び、表現できる生徒の育成」 ～ 学びの連続性と指導の系統性を重視して ～</p>																														
特色ある教育活動	<p>(1) 数学、理科、英語でTT・少人数学習・習熟度別授業を実施</p> <p>(2) 全校的に日常の朝読書・自習、週末課題への取り組み、放課後学習会、補習の実施</p> <p>(3) 総合的な学習の時間では「生き方を求めて」を共通テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生 ～ 農業体験（ジャガイモの栽培）</li> <li>○ 2年生 ～ 職場体験学習（2日間）</li> <li>○ 3年生 ～ 当別を知る</li> </ul> <p>(4) 体育ではスキー学習、武道等で地域の特性を生かした授業の実施</p> <p>(5) 部活動については体育系6部、文化系3部</p> <p>(6) 町内の各種催事で吹奏楽部が演奏</p> <p>(7) 小中一貫教育（小学校登校、乗り入れ授業、合同集会、小中交流会、部活動体験、合同研修）やコミュニティー・スクールの活用</p>																														
学級編制	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>33</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>4</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>41</td> <td>0</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>64</td> <td>67</td> <td>77</td> <td>4</td> <td>212</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	33	36	36	4	109	女子	31	31	41	0	103	合計	64	67	77	4	212
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	33	36	36	4	109																										
女子	31	31	41	0	103																										
合計	64	67	77	4	212																										
教職員	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <p>校長 武岡 則夫 教頭 小森 享</p> <p>教職員数 教諭16名 養護教諭1名 事務職員1名 非常勤講師2名 一貫教育推進講師1名 特別支援教育支援員2名 事務嘱託員1名 学校管理人1名</p>																														

# 西 当 別 小 学 校 (中学校併設型小学校)

校章・所在地



〒061-3776  
 北海道石狩郡当別町太美町 1481 番地  
 電話 : 0133-26-2170 FAX : 0133-26-2813

**【校章の意味】**

雪のように清らかに、鏡のように曇りなき心身の発達成長への願いを表す。

校歌

<p>三 夕雲遠く しずまりて 阿蘇岩山に あかねさす われらはのぞみ もやしあい 育つよ育つ すこやかに 西当別の小学校</p>	<p>二 緑の原を つらぬきて 石狩川の 水清し われらはともに 手を結び 進むよ進む ひとすじに 西当別の小学校</p>	<p>一 青き手稲の かがやけば 豊かなる野に 風かおる われらはあした 集い来て 学ぶよ学ぶ さわやかに 西当別の小学校</p> <p style="text-align: right;">作詞 坂本 作曲 津田 甫亮</p>
---	---	--

沿革の概要

- |   |   |
|---|---|
| <p>昭和26年 獅子内小学校・太美小学校が合併し<br/>西当別小学校設立<br/>新校舎落成・移転<br/>校章制定</p> <p>27年 西当別小学校校歌制定</p> <p>32年 校舎増築、屋内体育館完成</p> <p>36年 開校10周年記念式挙行</p> <p>46年 開校20周年記念式挙行</p> <p>48年 増築校舎完成(理科室・準備室、視聴覚室、<br/>放送室、保健室)</p> <p>50年 北海道小中学校放送教育研究大会開催</p> <p>56年 開校30周年記念式・祝賀会</p> <p>57年 新校舎完成(普通教室4・音楽室・理科室)</p> <p>58年 新体育館落成式・祝賀会</p> <p>62年 開校記念日指定・祝賀会</p> <p>平成元年 グラウンド改修工事</p> <p>3年 高岡小学校本校へ統合</p> <p>6年 増築校舎落成式・祝賀会</p> <p>7年 プレハブ校舎4教室完成</p> <p>8年 増築校舎完成式<br/>(普通教室8・音楽室・図工室)</p> <p>9年 「たんぼ学級」設置</p> <p>13年 新学校教育目標制定<br/>開校50周年記念式・祝賀会</p> | <p>平成14年 視聴覚室改修</p> <p>15年 児童図書管理コンピューター化</p> <p>16年 ハマナス50本植樹<br/>(朝日新聞社より寄贈)</p> <p>18年 文部科学省指定の「小中連携事業」<br/>開始(2か年)</p> <p>19年 国際理解教育開始(ALTとの学習)<br/>JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)</p> <p>22年 当別町青少年善行賞受賞<br/>(リングブル・エコキャップ収集)<br/>当別町140年記念パレード見学、<br/>記念式典参加(5年生)</p> <p>23年 大崎市へ震災復興激励の横断幕の送付</p> <p>24年 JR電化祝賀式典参加</p> <p>26年 西当別地区プレイハウスが西当別<br/>小学校内へ移転</p> <p>27年 電子黒板・書画カメラ設置</p> <p>28年 小中一貫教育推進教師配置<br/>(西当別中学校と兼務)<br/>JICA 研修員学校訪問(アフリカ諸国より)<br/>レクサンド市教育委員会視察団訪問</p> <p>29年 小中一貫教育開始<br/>旧校舎屋根改修工事<br/>西当別コミュニティスクール開始</p> |
|---|---|

教育目標

- |           |       |             |
|-----------|-------|-------------|
| ◇ 心ゆさぶる感性 | 〈心〉   | ・のびのび語り合う子  |
| ◇ 学び求める知性 | 〈学び〉  | ・ぐんぐん学び合う子  |
| ◇ 生き方が個性  | 〈生き方〉 | ・もりもりきたえ合う子 |
- [平成13年3月改定]

<p>経営の重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 確かな学びづくり 基礎・基本的事項の確実な習得を徹底した学力の向上</li> <li>◆ 豊かな心づくり 「挨拶」を起点にした心の教育の充実</li> <li>◆ 健やかな体づくり 体力の向上と健康安全教育の推進</li> <li>◆ 小中一貫教育の推進</li> <li>◆ 一人ひとりを大切にされた特別支援教育の充実</li> </ul>																																													
<p>研究主題</p>	<p>《 重点目標 》 「進んで学び、高め合う、心豊かでたくましい児童の育成」</p> <p>《 研究主題 》 「自らの考えを深め、表現できる子どもの育成」 ～算数科における学習過程の工夫の実践～</p>																																													
<p>特色ある教育活動</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 <b>基礎・基本を大切に確かな学力を身に付ける学習指導</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1～3年は国語と算数、3～6年は算数の時間にTT・習熟度別少人数指導を実施</li> <li>・ 全校一斉に毎朝「朝読書」「ドリルタイム」に取り組む</li> <li>・ 学生ボランティアSATを活用した授業の実施</li> <li>・ 小中一貫教育推進講師の活用（算数、理科、英語）</li> <li>・ 授業改善チームの有効な活用</li> </ul> </li> <li>2 <b>地域の人材を活用した学習支援活動（ときめきバンク・学校支援地域本部事業ボランティア）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な教科や特別活動、総合学習の時間などに「ときめきバンク」（人材バンク）に登録している人材の活用</li> </ul> </li> <li>3 <b>NPOと取り組む環境教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPOの協力を得て、環境教育に積極的に取り組む（5年「道民の森」での学習など）</li> </ul> </li> <li>4 <b>活発に行われる読書活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校一斉の「朝読書」、11月の読書月間、地域ボランティアによる本の読み聞かせなど、読書活動を通して豊かな心を養い、国語力向上を目指した取り組み</li> </ul> </li> <li>5 <b>生き生きと展開する児童会活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いやりの心を育て、児童相互のふれあいを大切にした「ふれあい集会」</li> <li>・ リングプル回収運動による福祉施設への車いす寄贈、児童会が主体的に計画運営する「西小タイム」、西当別中と連携した環境活動「クリーン作戦」</li> </ul> </li> <li>6 <b>基本的な生活習慣や子どもの生きる力を育てる幼保小中連携事業の充実・発展</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所園児の学校体験会、1年生との交流活動</li> <li>・ 6年生の中学校訪問、授業体験</li> <li>・ 小中合同クリーン作戦、芸術鑑賞会、いじめ集会など合同行事の開催</li> </ul> </li> </ol>																																													
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>21</td> <td>12</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>24</td> <td>5</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>21</td> <td>19</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>15</td> <td>20</td> <td>2</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>42</td> <td>31</td> <td>49</td> <td>50</td> <td>42</td> <td>44</td> <td>7</td> <td>265</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計	学級数	2	1	2	2	2	2	2	13	男子	21	12	26	23	27	24	5	138	女子	21	19	23	27	15	20	2	127	合計	42	31	49	50	42	44	7	265
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計																																						
学級数	2	1	2	2	2	2	2	13																																						
男子	21	12	26	23	27	24	5	138																																						
女子	21	19	23	27	15	20	2	127																																						
合計	42	31	49	50	42	44	7	265																																						
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <p>校長 難波 雅 弘          教頭 藤井 康 博</p> <p>教職員数 教諭16名 養護教諭1名 事務職員1名 一貫教育推進講師1名          特別支援学級介助員1名 特別支援教育支援員1名 事務嘱託員1名          学校管理人1名</p>																																													

# 西 当 別 中 学 校 (小学校併設型中学校)

校章・所在地



〒061-3772  
 北海道石狩郡当別町獅子内 5134 番地 1  
 電話：0133-26-2252 FAX：0133-26-2412

**【校章の意味】**

六角形の雪の結晶に、西当の文字を図案化し、中の字の周りに配する。

校歌

四 大いなる 恵の朝 われら今 光を受けて 踏み分けん 真の長道 西当別 われらのふるさと	三 涼風は 垂穂にそよぎ 行く水は 広野うるほす 豊けしや みのりの里わ 西当別 われらのふるさと	二 緑なす 森の梢に 先人の 功徳びつ 集い合う 若人われら 西当別 われらのふるさと	一 石狩の 潮騒遠く 夕映えの 広ごるほとり 厳かしく 立てる学び舎 西当別 われらのふるさと
作詞・作曲 倉島 繁			

沿革の概要

昭和 22年 23年 25年 26年 31年 32年 38年 42年 43年 46年 49年 51年 52年 54年 56年 57年 平成 4年 8年 9年 11年 12年	獅子内小に併置開校 当別町制施行町立に 校章制定、独立校舎落成 高岡分校設置 旧校歌制定 体育館落成 開校10周年式典 高岡分校独立 開校20周年式典 高岡中学校統合 町プール校地に設置 スクールバス運行 石狩管内教育実践奨励賞受賞 開校30周年式典 体育館落成 新校舎落成記念式典 校舎落成記念植樹 グランド完成 学校週5日制開始 学校給食完全実施、事務補配置 全国スキー大会回転優勝(豊島堅太) 開校50周年式典・スウェーデン訪問 全道剣道大会3位(菊池麻耶) 増築校舎完成 町P連研究大会(本校PTA主管)	平成 13年 14年 15年 16年 17年 18年 19年 20年 21年 22年 23年 25年 26年 27年 29年	特殊学級設置・10学級編制 全道新体操準優勝(岩倉 歩) 全道陸上砲丸投げ3位(山本竜太) 110mH 3位(寺尾瑞基) 全道新体操優勝(岩倉 歩) 全道水泳 50m自由形3位、100m自由形 2位(太田千晶) 全国新体操準優勝(岩倉 歩) 全道ソフトボール大会3位 新教育目標設定 全道ソフトボール大会3位 18・19年度国立教育政策研究所委嘱 事業 小中連携教育実践研究指定校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会 道「青少年の主張」大会優秀賞(萩原有希) 石狩管内教育実践奨励賞受賞 モンゴル国教育視察団訪問 ESD 日米教員交流団来校 当別町学校教育研究推進協議会学校 研究発表会 体育館大規模改修工事 旧校舎給水管改修工事 校務用生徒用パソコン更新 電子黒板・書画カメラ設置 小中一貫教育開始 開校70周年
--	--	--	--

教育目標

ここ西当別の大地で、  
 ◇ 高い知性 (知)  
 ◇ 強い意志 (徳)  
 ◇ 健やかな体 (体)  
 を求め、自らの進路を切り拓こう

[平成17年2月制定]

<p>経営の重点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 実践力豊かな信頼される学校づくりの推進</li> <li>◆ 生徒の生きる力と自己実現を図る教育の推進</li> <li>◆ 基礎基本の確実な習得と自ら考え判断し表現する力を育む教育の推進</li> <li>◆ 豊かな心と健やかな体を培い、社会性を育む教育の推進</li> <li>◆ 共生を基盤とした豊かな人間性を育む教育の推進</li> <li>◆ 時代の要請や今日的な教育課題を踏まえ、新たな可能性を創造する教育の推進</li> <li>◆ 家庭、地域と連携し、地域と共に歩む教育の推進</li> <li>◆ 学校いじめ防止基本方針に基づく教育の推進</li> <li>◆ 小中一貫教育基本方針に基づく教育の推進</li> </ul>																														
<p>研究主題</p>	<p>《 学校課題 》  “知・徳・体”をバランスよく備えた15歳の生徒像の実現</p> <p>《 研究主題 》  「学習規律」を通して教職員の生徒に対する関わり方を「見える化」する  ～ 学習規律の一貫性を図りながら ～</p>																														
<p>特色ある教育活動</p>	<p>①朝読書            全学年年間を通した朝読書の実施</p> <p>②生徒会活動        いじめ撲滅の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハッピースマイルプロジェクト（支え助け合う仲間づくり）の実践、</li> <li>・小中合同いじめ撲滅集会・撲滅宣言</li> <li>・一貫教育・CS連携事業</li> <li>・校区内小中合同クリーン作戦</li> <li>・挨拶運動</li> </ul> <p>③小中一貫教育    学校行事・部活動・児童生徒会の交流事業・小中交流会・新入生説明会  乗り入れ授業・合同研修など</p>																														
<p>学級編制</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>特別支援学級</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学級数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>男子</td> <td>21</td> <td>31</td> <td>27</td> <td>2</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>26</td> <td>1</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>44</td> <td>50</td> <td>53</td> <td>3</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計	学級数	2	2	2	2	8	男子	21	31	27	2	81	女子	23	19	26	1	69	合計	44	50	53	3	150
学年	1年	2年	3年	特別支援学級	合計																										
学級数	2	2	2	2	8																										
男子	21	31	27	2	81																										
女子	23	19	26	1	69																										
合計	44	50	53	3	150																										
<p>教職員</p>	<p style="text-align: right;">平成30年5月1日現在</p> <p>校長 野村 誠  教頭 寺嶋 裕介</p> <p>教職員数    教諭13名   養護教諭1名   事務職員1名   学校管理人1名  非常勤講師2名   一貫教育推進講師1名   特別支援教育支援員2名  事務嘱託員1名   学校管理人1名</p>																														

### ➤ 3 小中一貫教育

#### 【授業における取組】

取組	取組内容	目的
グループセッション	小学校6年生と中学校1年生が、中学校における授業や生活について話し合う。	小学生に小中学校間の違いを学ばせたり、中学校生活のイメージを持たせたりすることで、進学に対する不安の解消を図る。
体験授業	小学校6年生による中学校の外国語の授業への参加や、小学生による中学校の部活動や行事の見学を行う。	
出前授業	中学校の教員が、小学校に出向いて授業を行う。	
小中一貫教育推進講師の配置	4名の小中一貫教育推進講師が小中学校を行き来して、算数、数学、外国語の授業を担当するほか、授業に係る教材研究や小中一貫教育通信の作成を行う。	

#### 【小学校外国語の先進的取組】

取組	取組内容	目的
新学習指導要領の完全実施（2年前倒し） ○1、2年生 10時間（町独自取組） ○3、4年生 35時間 ○5、6年生 70時間 （60分授業を週3回設定することによる外国語授業の時数確保）	1 外国語指導助手の増員配置 2 町独自の一貫教育推進英語講師の継続配置（3名年間1,037時間）	早い段階から外国語に慣れ親しむことで、世界で活躍できるツールとしての外国語を身につける。

#### 【各学校（学校区）の取組】

##### ○地域における取組

取組	取組内容	当別地区	西当別地区
学校運営協議会の開催	地域とともにある学校づくりを推進し、地域と学校が連携して小中一貫教育をサポートするため、学校関係者、保護者及び地域住民から選出された委員が協議を行う。	委員11名 年6回実施予定	委員21名 年4回実施予定
町広報による活動周知	コミュニティ・スクールの設置目的や活動内容を町広報に掲載し、活動内容を地域住民に周知する。	7月号掲載予定	6月号掲載予定
コミュニティ・スクールカレンダーの作成	コミュニティ・スクールの活動を地域住民に周知するため、学校、地域の行事を記載したカレンダーを作成し、地区全世帯に配布する。	平成31年度カレンダーを作成予定	

○児童生徒の取組

取組	取組内容	当別地区	西当別地区
小中合同芸術鑑賞	小学校で行われた芸術鑑賞に中学校の1年生が参加し、大人になった先輩の姿を小学生に見せることで、中学生への憧れを持たせることにつなげる。	9月実施予定	9月実施予定
いじめ撲滅集会の開催	児童生徒が教職員、保護者及び地域住民とともに「いじめ」「自殺防止」について考える集会を実施する。	7月実施予定	6月実施予定
クリーン作戦	学校間の連携を深めるとともに、児童・生徒に地域の一員であるという自覚を持たせることを目的に、小・中学生が一緒になって行う地域のゴミ拾いを実施する。	6月実施予定	5月実施予定

○教職員の取組

取組	取組内容	当別地区	西当別地区
小中教職員交流会	小・中学校の教職員が互いの授業を参観した後、指導方法の違いや児童生徒の様子等を交流し、小中一貫教育の取組について協議する。	○小中交流会(6月、12月実施予定)	○授業交流(年4回実施予定) ○小学校教員による中学校授業参観(7月実施予定) ○中学校教員による小学校授業参観(12月実施予定)
教職員研修の開催	夏季・冬季休業中に教職員向けの研修会を開催し、児童・生徒指導や授業改善に関する講演を通じ、小中一貫教育に携わる教職員の資質及び指導力向上を図る。	7月、12月開催予定	

## ➤ 4 学校給食

### 1 特色

#### (1) 食育の推進

地場産食料を活用することにより、子どもが地域を知り、地域の産業について理解を深め、地域に誇りを持てるような「食育」の展開を進めています。また、現在、地元農家などと契約し新鮮な野菜や地元加工品を使用することにより、安全・安心な給食を提供しています。

#### (2) 地元高校との連携による新メニューの共同開発

当別高校家政科と連携し、平成29年度より新メニューを共同で開発しており、年に1回、3～4品を提供しています。それにより、子どもにとっては、地域の高校生の存在感を改めて感じる機会となり、また、高校生にとっては、自分たちの学びの意義を確かめる場となっています。

### 2 給食費

区分		実施回数 (回)	一食単価 (円)	年額 (円)
小学校	1年	180	249	44,820
	2年	187		46,563
	3年	186・187	255	47,430・47,685
	4年	186・187		47,430・47,685
	5年	185・187	261	48,285・48,807
	6年	184・187		48,024・48,807
中学校	1年	181・186	317	57,377・58,962
	2年	177・182		56,109・57,694
	3年	174・176		55,158・55,792

### 3 学校給食センターの運営

(1) 学校給食センター運営委員会は、教育委員会の附属機関として11名以内の委員で構成され、学校給食費会計や給食センターの運営に関わる事項について審議しています。

【任期 2年 委員 11名以内(教職員5名、保護者3名、学識経験者3名)】

(2) 調理・配送・配膳業務を北日本フードサービス(株)へ委託しています。(業務従事者26名)

### 4 施設概要

区分	概要
名称	当別町学校給食センター
所在地	石狩郡当別町若葉2224番地
建設年度	平成7年12月完成
開設	平成8年1月(平成7年度3学期)
敷地面積	3,625.00㎡(1,096.56坪)
建物面積	1,098.12㎡(332.18坪)
構造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 一部2階建
調理場区分	共同調理場
厨房方式	ドライシステム
調理能力	最大3,000食/日
廃水処理	回転円板方式
厨芥処理	有機廃棄物処理方式
建設事業費	830,386千円
実施状況	1,045食(平成30年5月1日現在)

## ➤ 5 保護者支援制度（学校教育）

### 1 就学援助

経済的理由によって、就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、その就学に必要な援助を行う。

内訳（平成30年度支給額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校	内 容
新入学児童生徒 入学準備金	入学前	40,600	47,400	入学予定者が入学に必要な通常必要とする学用品及び通学用品（H29～）
新入学児童生徒 学用品費等	1年	40,600	47,400	小学校又は中学校に入学する者が通常必要とする学用品及び通学用品 ※ 入学前に入学準備金を受けた場合は対象外
学用品費（学） 通学用品費（通） 校外活動費（校）	1年	（学）11,420	（学）22,320	各教科及び特別活動の学習に必要とされる学用品（実験、実習教材費を含む）、通学用靴、雨傘等の通学用品に係わる経費及び校外活動に参加するために必要な交通費及び見学科
	2年	（学）11,420 （通）2,230 （校）実費	（学）22,320	
	3年		（通）2,230	
	4年		（校）実費	
	5年			
	6年			
体育実技用具費 小1・4年、中1年のみ	スキー	26,020	37,340	体育授業の参加に必要な体育実技用具（スキー、柔道）
	武道用具		7,510	
修学旅行費		実費	実費	小学校及び中学校で、それぞれ1回参加する修学旅行に直接必要な交通費、宿泊費、見学科料などの経費
生徒会費			実費	生徒会費として負担すべき経費（H29～）
P T A会費		実費	実費	P T A活動に要する費用として負担すべき経費（H29～）
学校給食費		現物支給	現物支給	学校給食に要する食費の全額
医療費		実費	実費	トラコーマ及び結膜炎、白せん、疥せん及び膿痴疹、中耳炎、慢性鼻腔炎及びアデノイド、う歯、寄生虫（虫卵保有を含む）の治療に要した自己負担額

## 2 特別支援教育就学奨励費

小学校及び中学校の特別支援学級に在籍し、就学援助の対象とならない児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給する。

内訳（平成30年度上限額）

（単位：円）

支給費目		小学校	中学校
新入学児童生徒 学用品・通学用品購入費	1年	20,300	23,700
学用品・通学用品購入費		5,710	11,160
体育実技用具費 小1~3年、4~6年、中1~3年の 各期間に1回	スキー	13,010	18,670
	柔道		3,755
	剣道		25,970
校外活動等参加費（宿泊を伴う）		1,810	3,050
校外活動等参加費（宿泊を伴わない）		785	1,135
通学費		実費又は実費の1/2	実費又は実費の1/2
修学旅行費		10,590	28,335
学校給食費		実費の1/2	実費の1/2

## 3 特別支援学級等通学援助費

小学校及び中学校の特別支援学級・通級指導教室に通学する児童生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、通学費の一部を支給する。

---

# 社会教育

---

1	重点目標	P26
2	社会教育関係事業	
	(1) 学校教育との連携事業	P26
	(2) 生涯学習推進事業	P28
	(3) 読書活動推進事業	P29
	(4) 生涯スポーツ推進事業	P30
3	社会教育施設	
	(1) コミュニティセンター・文化施設等	P31
	(2) 体育施設	P32

---



➤ 1 重点目標

- 1 生涯学習推進
- 2 児童・生徒の成長を支援する「学校を核とした地域力強化プラン事業」の実施
- 3 家庭教育支援
- 4 読書活動推進

※詳細は、P6「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 社会教育関係事業

1 学校教育との連携事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
わくわくキッズ	5月～12月 (月1回 土曜日)	当別小学校 体育館等	小学生	町内の児童に対し、体験活動を通して安全な居場所づくりを行う。
土曜教室	6月～3月 (年10回)	当別子ども プレイハウス 西当別子ども プレイハウス等	小学生	町内の児童に対し、体験的な学習や郷土学習、異年齢交流等の活動を通して、学習する楽しさや達成感を体感させる。
土曜学習会	9月～2月 (年6回)	白樺コミセン 西当別コミセン	中学生	町内の生徒に対し、家庭で行う自発的な学習への取り組みを促進し、基礎学力の向上と学習習慣の定着を図る。
放課後学習会	4月～3月 小学生：年76回 中学生：年54回	各小・中学校	小学生 中学生	町内の児童生徒に対し、放課後の宿題や自主学習のサポートを行い、基礎学力や学習習慣の定着を図る。
当別 KIDS インターナショナル クラブ	5月～3月 (年10回)	白樺コミセン 西当別コミセン等	小学生	町内の児童に対し、様々な国の人と一緒に、楽しくゲーム・ダンス・歌・おしゃべり等を行うことで、英語体験の充実を図る。

<p>こころのふれあい 通学合宿</p>	<p>【第1部】 6月25日 ～6月30日 【第2部】 10月中旬</p>	<p>白樺コミセン 西当別コミセン等</p>	<p>小学 5・6年生</p>	<p>町内の小学校高学年に対し、 通学しながら5泊6日（第2 部は2泊3日）の集団生活を 送ることで、規則正しい生活 習慣と自ら考え行動できる 力を育む。</p>
<p>当別町小中高大生 TOWN ミーティン グ</p>	<p>11月～12月</p>	<p>白樺コミセン</p>	<p>町内の 小・中・高 校生 北海道 医療大 学生</p>	<p>町内の児童会・生徒会役員等 が集い、課題解決方法の学習 等を行い、リーダーとしての 資質向上等を図る。</p>
<p>少年の意見発表会</p>	<p>2月2日</p>	<p>白樺コミセン</p>	<p>町内の 小・中・高 校生</p>	<p>青少年の自覚と自主性を育 て、同世代の青少年の意識啓 発と、青少年の健全育成に対 する大人の理解関心を深め る。</p>

## 2 生涯学習推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
青少年リーダー養成事業	4月～3月	白樺コミセン等	中学1年～ 高校3年	リーダー研修会の参加や地域行事の手伝いを通じ、青少年リーダーを養成する。
ことぶき大学	5月～3月 (全28講座)	白樺コミセン 各見学・体験 ・交流施設等	60歳以上の町民	体験活動を重視した趣味の講座や、健康や生きがいづくりの講演会、見聞を広める研修視察等を実施する。
親子 de 田植え／稲刈り	5月27日 ／未定	田の沢公園	町内の小学生と保護者	田植え等の作業を共同で行うことで、親子の交流・つどいの場の提供し、家庭の教育力の向上と充実を図る。
北海道医療大学連携講座	7月～1月 (年6回)	北海道医療大学 キャンパス等	町民	高等教育機関と連携を図り、大学の知的財産を活かした学習機会の提供を進める。
子育てを考えるつどい	7月～3月	各小・中学校 地区会館等	P T A等	講演会、懇談会等を開催し、子育てについて考え、効果的に家庭や地域社会の教育力の向上と充実を図る。
当別町人材バンク	要相談	要相談	町民	自らの知識や技能を活かして活動をする人材バンクを活用し、町内活動団体等への紹介やコーディネートを行う。
町民自主企画講座	4月～3月	白樺コミセン等	町民	町民自らが企画する講座の支援を行う。
当別町文化祭	11月2日 ～11月4日	総合体育館 白樺コミセン	町民	多くの町民の自主的・創造的な発表の機会と、文化に親しむ場を創出する。
歴史学習講座	5月～3月 (年11回)	白樺コミセン	町民	当別町の古文書の解説により、当別町開拓の歴史を学ぶ。

### 3 読書活動推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
絵本読み聞かせ会	毎月 第3金曜日	学習交流センター	乳幼児 保護者	絵本読み聞かせよみきかせ会を通して、子どもたちが絵本やおはなしに親しみ、本に触れる環境を提供していく。
ブックスタート	10ヶ月児 健診時	ゆとろ	10ヶ月児 健診を 受診する 親子	乳幼児期からの絵本の読み聞かせの大切さや方法の理解を深めるため、「ブックスタートパック」を配付する。
ブックセカンド	4月～7月	各小学校	小学1年生	乳幼児期に育まれた読書への興味、関心を引き継ぎ、読書習慣を育て、さらに家族ぐるみで高めていくことを目的とし、新1年生の入学のお祝いとして自分の選んだ本を1冊プレゼントする。
巡回図書	5月～3月 幼保 子育て支援センター (年6回) 小中学校 プレイハウス (年6回)	幼稚園 保育所 ゆとろ 各小・中学校 プレイハウス	幼児 小学生 中学生	子どもの読書活動を充実させるため、町図書室の新規購入図書を幼稚園、保育所、ゆとろ、各小中学校、プレイハウスへ巡回し貸し出しを行う。
子ども出前図書	要相談	各小・中学校	小学生 中学生	学校の要望に応じ、学級文庫用図書などの貸出し協力や学校図書館運営支援を行い、子どもの読書環境を充実させる。
学校図書館訪問支援	毎週指定 曜日・時間	各小・中学校	小学生 中学生	町図書室の司書が学校を訪問し、読書環境の整備及び選書のアドバイス等を行う。
とうべつ家読の日	毎月23日		町民	家読の日を広く周知し、家庭で子どもが本に出会い、本に親しむきっかけをつくる。 毎月「家読通信」の発行を行う。

#### 4 生涯スポーツ推進事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
学校開放事業	4月1日 ～3月31日	各小・中学校 体育館 グラウンド	町民	定期的なスポーツ及びレクリエーション活動の場として、各小・中学校の体育館・グラウンドを開放する。
ニュースポーツ チャレンジ	4月～3月	要相談	町民	申し込み団体に講師を派遣し、ニュースポーツの体験、啓発に向けた出前教室を実施する。
小中学生のスポーツ 大会参加事業助成	4月～3月		小学生 中学生	町内の児童生徒が全道・全国スポーツ大会等に参加する場合、その交通費の助成を行う。
町民スポーツの日	4月～3月 毎月いずれか の日曜日	総合体育館 西当別コミセン	町民	町民の体力向上及び健康増進を目的に、総合体育館及び西当別コミュニティーセンターアリーナを無料開放を行う。
青少年 スポーツの時間	不定期 土曜日 9時～12時	総合体育館 西当別コミセン	町内の 小・中・高 校生と その保護者	青少年の体力向上を図ることを目的に、体育館アリーナの無料開放を行う。

### ➤ 3 社会教育施設

#### 1 コミュニティーセンター・文化施設等

##### 白樺コミュニティセンター

※ふれスポ with AMB による指定管理[平成 28 年 4 月 1 日開始]

所在地 石狩郡当別町白樺町 2792 番地 1 電話 0133-23-2511 FAX 0133-23-2516  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
施設概要 多目的ホール、大研修室、小研修室、調理実習室、和室（3 室）、談話室

##### 西当別コミュニティセンター

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7 電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
施設概要 アリーナ、図書室、大会議室、和室、研修室、会議室、調理室、更衣室、シャワー室

##### 当別町学習交流センター“ふくろう図書館”

所在地 石狩郡当別町錦町 1248 番地 7 電話・FAX 0133-23-0573  
開館時間 午前 10 時～午後 5 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）

##### 西当別コミュニティセンター図書室

所在地 石狩郡当別町太美町 22 番地 7 電話 0133-26-3300 FAX 0133-26-3600  
開館時間 午前 10 時～午後 5 時（火～土は午後 9 時まで）  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
貸出期間 2 週間以内（1 人 10 冊まで）

##### 世紀会館

所在地 石狩郡当別町園生 57 番地 8 電話 0133-23-2896  
開館時間 午前 9 時～午後 10 時  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）  
施設概要 洋室、集会室、和室

##### 当別伊達記念館・伊達邸別館

明治 4 年、仙台藩一門・岩出山の伊達邦直主従によって開拓の礎が入れられた当別町は、今もその歴史を大切に伝えている。伊達邸別館は明治 13 年、名士来村の際の宿泊や諸会議のための建物。隣接する伊達記念館には、開拓の労苦に感謝し、伊達家主従ゆかりの品々が展示されている。

所在地 石狩郡当別町元町 105 番地 電話 0133-22-3735  
開館時間 午前 10 時～午後 4 時 30 分  
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、その翌日）、冬期間（11 月～4 月まで）  
料金 無料

## 2 体育施設

屋内施設名	所在地・概要・問合せ先等
当別町総合体育館 ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成28年4月1日開始]	石狩郡当別町白樺町 2792 番地 アリーナ、ランニングコース、トレーニングルーム、弓道場、格技室、更衣室、シャワー室 開館時間：午前 9 時～午後 9 時 30 分 休館日：第 1・3 月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）、 年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日） 問合せ先：0133-22-3833
屋外施設名	所在地・概要・問合せ先等
若葉球場	石狩郡当別町字上当別 2475 番地 6 バックネット、フェンス、スコアボード、ダッグアウト、土盛スタンド 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
阿蘇公園少年野球場	石狩郡当別町元町 1119 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
相撲場	石狩郡当別町元町 1119 番地 3（阿蘇公園内） 土俵 1 面（屋根付き）、観覧席 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
栄公園テニスコート	石狩郡当別町栄町 1119 番地 7 全天候型コート 2 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
白樺公園テニスコート	石狩郡当別町白樺町 163 番地 1 クレーコート 4 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：当別町総合体育館
当別小学校水泳プール ※ふれスポ with AMB による指定管理 [平成28年4月1日開始]	石狩郡当別町元町 102 番地 25m×6 コース、幼児・低学年用プール、シャワー、ロッカー、採暖室 開設期間：6 月～9 月（月曜日、8/15・16 は休館） 利用時間：10 時～12 時、13 時～20 時 問合せ先：0133-22-0787 または当別町総合体育館
フラワーパークゴルフ場	石狩郡当別町樺戸町 他（当別川河川緑地） 全 18 ホール 開設期間：5 月～10 月（火曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：当別町総合体育館
あいあい公園少年野球場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 バックネット、フェンス、ベンチ 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
あいあい公園パークゴルフ場	石狩郡当別町太美町 1457 番地 1 全 18 ホール 開設期間：5 月～10 月（月曜日は整備のため利用不可） 問合せ先：西当別コミュニティーセンター
遊遊公園テニスコート	石狩郡当別町当別太 2095 番地 1 他 オムニコート 2 面 開設期間：5 月～10 月 問合せ先：西当別コミュニティーセンター



---

# 子育て・幼児教育

---

1	重点目標	P33
2	子育て・幼児教育関係事業	P33
3	子育て・幼児教育施設	P36
4	保護者支援制度	P36

---



➤ 1 重点目標

- 1 子育て支援の充実
- 2 幼児教育の充実
- 3 早期療育の推進
- 4 社会全体で子どもを守る体制の構築

※詳細は、P6「当別町教育推進計画」参照

➤ 2 子育て・幼児教育関係事業

1 特別保育事業

事業名	実施場所 及び日時	利用料等	対象	概要
延長保育事業	ふとみ保育所 18時30分 ～19時30分	課税世帯 1日300円 (月額上限) 2,500円 非課税世帯 1日60円 (月額上限) 600円	ふとみ保育所 利用児童	保護者の就労形態の多様化等により通常の保育時間を超えて保育の実施が必要な場合に延長保育を行う。
障がい児保育事業	ふとみ保育所 4月～3月	無料	ふとみ保育所 利用児童 (3歳児以上)	心身に障がいや発達に遅れを有する児童に対し、保育士を加配し適切な支援を行うことで、当該児童の心身の健全な発達及び育成を促進する。
一時預かり事業	ふとみ保育所 7時30分 ～18時30分	3歳児未満 1日2,000円 3歳児以上 1日1,500円 非課税世帯 無料	1歳6ヵ月～ 就学前	保護者が一時的に家庭での保育が困難な場合等、育児負担の軽減を図るため、児童に対し保育を行う。

## 2 子ども発達支援センター事業

事業名	実施場所 及び日時	利用料等	対象	概要
児童発達支援事業	子ども発達 支援センター 4月～3月	1回 1,054円	未就学児	日常生活における基本的動作 や知識技能を習得し、集団生活 に適用することができるよう、 適切かつ効果的な指導・訓練を 行う。
放課後等 デイサービス事業	子ども発達 支援センター 4月～3月	放課後 1回 833円 学校休業日 1回 953円	就学児	生活能力の向上のために必要 な訓練を行う等、社会との交流を 図ることができるよう、適切か つ効果的な指導・訓練を行う。
保育所等訪問 支援事業	保育所等 所属施設 4月～3月	単独支援 1回 1,136円 複数支援 1回 1,057円	子ども発達 支援センター 利用者	保育所等における集団生活に適 応することができるよう、当該保 育所等において適切かつ効果的 な支援を行う。
障害児相談 支援事業	子ども発達 支援センター 4月～3月	無料	18歳以下	児童福祉法に基づく障害児通 所支援等の利用に必要な障害児 支援利用計画等を作成し、サー ビス担当者会議を開催する。
特定相談支援事業	子ども発達 支援センター 4月～3月	無料	一般	障害者総合支援法及び介護 保険法に基づく居宅サービス 等の利用に必要なサービス利用計 画等を作成し、サービス担当者会 議を開催する。

## 3 学童保育事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
放課後児童 健全育成事業 (当別町子どもプ レイハウス)	4月～3月 (月～土)  【平日】 下校時～18 時  【土・長期休 業日】 8時～18時 ※18時～19 時は延長保育 実施(利用料 別途必要)	当別子ども プレイハウス (当別小学校内)  西当別子ども プレイハウス (西当別小学校内)	小学生	仕事等の理由により、放課後等 に保護者がいない家庭の児童の 保育を行い、安全な環境で集団 活動を行う。  【事業内容】 ・学習指導 ・スポーツ活動 ・合同遠足 ・映画鑑賞 ・調理体験 ・ハンドクラフト ・お楽しみ会 ・放課後学習会 等

#### 4 子育て支援事業

事業名	開催月日	会場	対象	概要
子育て支援拠点事業 (当別町子育て支援センター事業)	4月～3月 (月～金)	当別町総合保健福祉センター (機能訓練室等) ふとみ保育所 (すみれルーム)	乳幼児と その保護者	町内の子育て中の親子の交流促進や育児相談、情報提供等きめ細かな子育て支援活動を実施するため、町内2か所に子育て支援センターを設置し、育児者の子育てに対する不安感、孤立感、負担感の解消を目指す。  【事業内容】 ・設定保育事業 あそびのひろば(0歳～6歳までの就学前の子どもと保護者) ・子育て講座 ・育児者リフレッシュ講座 ・子育て支援情報提供 ・子育て相談 等
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	4月～3月		小学生以下の子ども いる家庭	ファミリー・サポート・センター(地域において子どもの預かり等の援助を行いたい者と援助を受けたい者からなる会員組織)を設立し、地域の子育ては地域の力で支援する相互協力体制構築により、地域全体で子どもを育てる機運を高め、子育てしやすい環境を整備する。
児童虐待防止事業	4月～3月	保育所・幼稚園 各小・中学校	18歳未満の子ども	児童虐待に対する適切な対応、防止、予防及び早期発見その他の児童虐待防止に関する啓発を行う。

### ➤ 3 子育て・幼児教育施設

---

#### ふとみ保育所

所在地	石狩郡当別町太美町 1480 番地 8 電話 0133-26-2353 FAX 0133-26-2352
開所時間	午前 7 時 30 分 ～ 午後 6 時 30 分
休所日	日曜日、祝日、年末年始（12 月 31 日～1 月 5 日）
施設概要	遊戯室、保育室、調理室、事務室、相談室

#### 子ども発達支援センター

所在地	石狩郡当別町西町 32 番地 1 障害児通所支援事業所 電話・FAX 0133-23-3009 障害児相談支援・特定相談支援事業所 電話 0133-23-2788
開設時間	午前 8 時 45 分 ～ 午後 5 時 15 分
休所日	土・日曜日、祝日、年末年始（12 月 30 日～1 月 5 日）
施設概要	個別指導室、集団指導室、相談室、検査室、事務室

### ➤ 4 保護者支援制度（子育て・幼児教育）

---

#### 1 私立幼稚園助成費

【 対象施設：学校教育法に基づく私立幼稚園（※新制度に移行した幼稚園を除く） 】

##### (ア) 就園奨励費補助金

私立幼稚園に通園する幼児の保護者の経済的負担の軽減と公・私立間の保護者負担の格差是正を図るため、入園料・保育料の軽減を行った私立幼稚園に対し、補助金を交付する。

##### (イ) 幼稚園特別支援教育費補助金

特別な支援が必要とされる幼児が在園し、かつ、特別支援教育支援員を置く町内の私立幼稚園に対し、補助金を交付する。

#### 2 教育・保育施設等助成費

【 対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園 】

##### (ア) 施設型給付費

保護者の経済的負担を軽減するため、児童 1 人の教育・保育にかかる費用の額と当該児童に係る利用者負担額の差分を教育・保育施設に対し、施設型給付費を支給する。

また、利用者負担額は、町民税所得割額に応じ、保育所については既存の保育料と比較し、幼稚園については就園奨励費を考慮し、増額とならないよう設定している。

##### (イ) 特別保育事業補助金等

多様な教育・保育ニーズへの対応を図るため、延長保育事業、障がい児保育事業、一時預かり事業を実施している保育所等に対し、補助金等を交付する。

---

# 資 料

---

1	教育委員	P37
2	組織図・分掌事務	P39
3	関係各種委員	P40
4	関係各種団体	P46
5	指定文化財一覧	P48
6	教育の沿革	P49
7	統計データ	P55

---



## ➤ 1 教育委員

### 【 教育委員 】

平成30年6月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
委 員 (教育長職務代理者)	武 岡 和 廣	平成22年10月 1日就任 [2期]
委 員	寺 田 郷 子	平成23年12月15日就任 [2期]
委 員	小 林 泰 雄	平成24年10月 1日就任 [2期]
委 員	佐々木 成 尉	平成29年11月 1日就任 [1期]

### 【 教育長 】

平成30年6月1日現在

職 名	氏 名	就 任 年 月 日
教 育 長	本 庄 幸 賢	平成28年10月 1日就任 [1期]

### 【 歴代 教育長 】

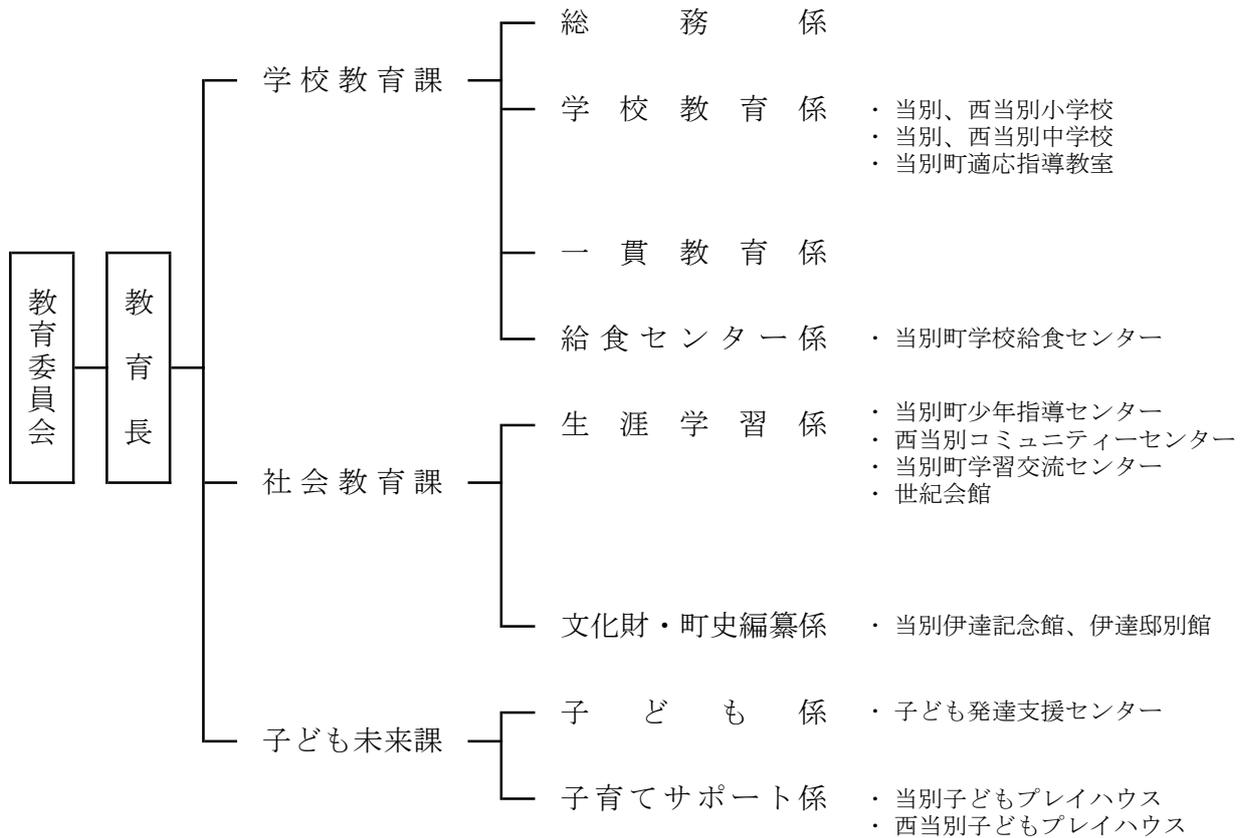
歴 代	氏 名	就 任 期 間
初代	山 田 勇	昭和27年11月 1日 ~ 昭和28年 1月 7日
2代	高 橋 鋼三郎	昭和28年 1月 8日 ~ 昭和32年 2月14日
3代	久 永 善 治	昭和32年 2月17日 ~ 昭和38年 3月31日
4代	高 砂 正 清	昭和38年 4月 1日 ~ 昭和51年 6月10日
5代	佐 藤 晴 之	昭和51年 6月21日 ~ 昭和61年 8月 5日
6代	有 澤 楨 雄	昭和61年 8月13日 ~ 平成 9年 8月22日
7代	藤 中 彰 二	平成 9年 8月25日 ~ 平成13年 9月30日
8代	高 橋 義	平成13年10月 1日 ~ 平成21年 9月30日
9代	山 内 秀 治	平成21年10月 1日 ~ 平成25年 9月30日
10代	本 庄 幸 賢	平成25年10月 1日 ~ 平成28年 9月30日
		平成28年10月 1日 ~ 現在 [新教育長]

※平成28年10月1日より新教育委員会制度に移行。

【 教育委員活動状況 】

活 動 名	活 動 日	場 所	備 考
平成29年第5回定例会	平成29年 4月19日	役場会議室	
第6回定例会	平成29年 5月17日	役場会議室	
校長・教頭合同研修会	平成29年 6月22日	役場会議室	当別町小中学校長会・ 当別町教頭会主催
第7回定例会	平成29年 6月28日	役場会議室	
北海道市町村教育委員研修会	平成29年 7月11日	札幌市教育文化会館	北海道町村教育委員会 連合会主催
教育委員視察研修	平成29年 7月21日	当別町	ふとみ保育所、 西当別中学校
第8回定例会	平成29年 7月21日	役場会議室	
第9回定例会	平成29年 8月23日	役場会議室	
第10回定例会	平成29年 9月29日	役場会議室	
教育委員視察研修	平成29年10月 4日 10月 5日	白糠町	
第11回定例会	平成29年10月20日	役場会議室	
石狩管内教育委員会委員研修会	平成29年10月23日	恵庭市	石狩管内教育委員会 協議会主催
第12回定例会	平成29年11月22日	役場会議室	
第13回定例会	平成29年12月20日	役場会議室	
当別町成人式	平成30年 1月 7日	総合体育館	
平成30年第1回定例会	平成30年 1月24日	役場会議室	
当別町少年の意見発表会	平成30年 2月 3日	白樺コミセン	
第2回定例会	平成30年 2月21日	役場会議室	
当別町小中一貫教育講演会	平成30年 2月21日	ゆとろ	
当別町教育委員会表彰式	平成30年 2月24日	ゆとろ	
第3回臨時会	平成30年 3月 8日	役場会議室	
第4回定例会	平成30年 3月26日	役場会議室	

## ➤ 2 教育委員会組織図及び各課の分掌事務



### 【学校教育課】

- ・ 教育委員会に関すること
- ・ 事務局及び教育機関並びに附属機関の職員の人事に関すること
- ・ 学校教育の推進に関すること
- ・ 学校教育財産の管理に関すること
- ・ その他教育委員会の権限に属する事務で他課に属さない事務に関すること

### 【社会教育課】

- ・ 社会教育の計画及び推進に関すること
- ・ 社会教育施設に関すること
- ・ 文化財の保護に関すること
- ・ 社会教育に関する調査、研究及び資料の整備に関すること
- ・ 社会教育関係団体及び指導者の育成に関すること
- ・ 青少年健全育成及び対策に関すること
- ・ スポーツの振興に関すること
- ・ その他社会教育の指導及び事務に関すること

### 【子ども未来課】

- ・ 子育て支援施策の計画及び推進に関すること
- ・ 幼児教育及び保育に関すること
- ・ 子ども発達支援センターに関すること
- ・ ファミリーサポートセンターに関すること
- ・ 子どもプレイハウスに関すること
- ・ その他子育て支援に関すること

### ➤ 3 教育関係各種委員

各委員：平成30年6月1日現在

#### (1) 当別町教育支援委員会

教育支援委員会委員			
氏名	選任区分	所属	
前田 史郎	第1号委員	医師	とうべつ内科クリニック
野村 誠	第2号委員	学識経験者	当別町立西当別中学校
難波 雅弘	第3号委員	特別支援学級設置校校長	当別町立西当別小学校
大久保 由希恵	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
武田 あゆみ	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
中山 昌	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
三浦 ゆかり	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
伊藤 千織	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
佐久間 亜美	第4号委員	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校
宮本 優子	第4号委員	特別支援教育担当教諭	北海道拓北養護学校
長谷川 恵子	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町福祉部保健福祉課
五十嵐 京湖	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町ふとみ保育所
砂田 敦子	第5号委員	児童福祉関係職員	当別夢の国幼稚園
門脇 一恵	第5号委員	児童福祉関係職員	当別町子ども発達支援センター

[任期] 平成29年5月1日～平成31年4月30日

教育支援委員会専門委員		
氏名	選任区分	所属
大久保 由希恵	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
武田 あゆみ	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
中山 昌	特別支援教育担当教諭	当別町立当別小学校
三浦 ゆかり	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別小学校
伊藤 千織	特別支援教育担当教諭	当別町立当別中学校
佐久間 亜美	特別支援教育担当教諭	当別町立西当別中学校

[任期] 平成29年5月1日～平成31年4月30日

#### (2) 当別町特別支援教育推進サポート組織

特別支援教育巡回相談チーム委員		
氏名	選任区分	所属
宮本 優子	特別支援学校教職員	北海道拓北養護学校
大久保 由希恵	特別支援学級設置校教職員	当別町立当別小学校
三浦 ゆかり	特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別小学校
伊藤 千織	特別支援学級設置校教職員	当別町立当別中学校
佐久間 亜美	特別支援学級設置校教職員	当別町立西当別中学校

特別支援教育専門家委員			
氏名	選任区分	所属	
西 基	第1号委員	精神科、神経科、小児科等の医師	北海道医療大学
新田 大志	第2号委員	臨床心理士	当別町スクールカウンセラー
青山 眞二	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	北海道教育大学教育学部札幌校
音羽 孝文	第3号委員	有識者及び専門機関の委員	石狩教育局教育支援課義務教育指導班

[任期] 平成29年5月1日～平成31年4月30日

(3) 当別町いじめ問題調査委員会

氏名	分野	職能区分	所属
武田 亘 明	教育	生涯学習	札幌市立大学デザイン学部デザイン学科
縄野 歩	法律	弁護士	札幌弁護士会
瀧澤 紫 織	医療	精神科医	江別すずらん病院
富家 直 明	心理	臨床心理士	北海道医療大学 心理科学部臨床心理学科
福間 麻 紀	福祉	社会福祉士	北海道医療大学 看護福祉学部臨床福祉学科

[任期] 平成30年5月1日～平成32年4月30日

(4) 当別町立学校医・学校歯科医・学校薬剤師

学校医（内科医・耳鼻科医・眼科医）			
学校名	内科医		耳鼻科医
当別小学校	1～4年	前田 史郎	大黒 慎二
	5～6年	小野寺 晃彦	
西当別小学校	1～4年	奥山 茂樹	黒田 努
	5～6年	朴 昶勲	
当別中学校	全学年	澤崎 孝司	大黒 慎二
西当別中学校	全学年	朴 昶勲	黒田 努

学校歯科医・学校薬剤師		
学校名	歯科医	薬剤師
当別小学校	1～4年	齊藤 正人
	5年	田西 和伸
	6年	黒澤 遠奈
西当別小学校	1～2年	相良 昌宏
	3～6年	千葉 逸朗
当別中学校	全学年	飯嶋 雅弘
西当別中学校	1～2年	秀 誠司
	3年	相良 昌宏

[任期] 平成30年4月1日～平成31年3月31日

(5) 当別町学校給食センター運営委員会

職名	氏名	選任区分
委員長	武岡 則夫	教職員
副委員長	寺嶋 裕介	教職員
委員	佐藤 涼子	教職員
監事	加藤 正	教職員
監事	佐渡 智美	保護者
委員	泉 亭英徳	保護者
委員	開 沼文孝	保護者
委員	田西 洋三	学識経験者
委員	稲村 時子	学識経験者
委員	見原 美智子	学識経験者

[任期] 平成29年12月22日～平成31年12月21日

(6) 当別町学校運営協議会

氏名	区分	所属	
【当別地区】			
野口和之	第1号委員	地域住民	
武田章子	第1号委員	地域住民	
山田健太	第1号委員	地域住民	
小田島正高	第1号委員	地域住民	
難波雅美	第1号委員	地域住民	
長谷部直樹	第1号委員	地域住民	
加藤勇二	第1号委員	地域住民	
泉亭英徳	第2号委員	保護者	当別小学校PTA
稲村英樹	第2号委員	保護者	当別中学校PTA
小松芳幸	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
砂田敦子	第4号委員	その他必要と認めるもの	当別夢の国幼稚園
【西当別地区】			
石田洋三	第1号委員	地域住民	
大坪圭子	第1号委員	地域住民	
新森道博	第1号委員	地域住民	
山田佳秀	第1号委員	地域住民	
泉亭智則	第1号委員	地域住民	
金子景次郎	第1号委員	地域住民	
袴田万紀子	第1号委員	地域住民	
曾川昭治	第1号委員	地域住民	
佐々木彦治	第1号委員	地域住民	
佐々木健児	第1号委員	地域住民	
開沼文孝	第2号委員	保護者	西当別小学校PTA
吉野裕宜	第2号委員	保護者	西当別中学校PTA
冷川元彦	第3号委員	地域学校協働活動推進員	社会教育指導員
五十嵐京湖	第4号委員	その他必要と認めるもの	ふとみ保育所
仲保智宏	第4号委員	その他必要と認めるもの	太美駐在所
藤井康博	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校
寺嶋裕介	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校
細貝弘則	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校
大浦美保子	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別小学校
佐々木孝行	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校
石田敬司	第4号委員	その他必要と認めるもの	西当別中学校

[任期] 平成29年10月1日～平成31年9月30日 (当別地区)

平成29年11月1日～平成31年10月31日 (西当別地区)

(7) 当別町文化財調査審議会

職名	氏名	選任区分
会長	鎌田望	学識経験者
副会長	梅枝正春	学識経験者
委員	倉田守	学識経験者
委員	渡部泰夫	学識経験者
委員	大口弘美	学識経験者

[任期] 平成29年12月20日～平成31年12月19日

(8) 当別町社会教育委員会

職名	氏名	選任区分
委員長	(欠員)	学識経験者
副委員長	浜上尚也	社会教育関係者
委員	難波雅弘	学校教育関係者
委員	武岡則夫	学校教育関係者
委員	宮尾道子	社会教育関係者
委員	曾川昭治	社会教育関係者
委員	大塚慎太郎	社会教育関係者
委員	鈴木智明	家庭教育活動者
委員	吉野裕宜	家庭教育活動者
委員	櫻田昭嘉	学識経験者

[任期] 平成29年4月24日～平成31年4月23日

(9) 当別町子ども読書活動推進委員会

職名	氏名	所属
委員長	大澤俊信	学識経験者
副委員長	刑部由美子	当別町教育委員会子ども未来課
委員	吉田友恵	ふとみ保育所
委員	文字絵里子	当別夢の国幼稚園
委員	大場さおり	当別小学校
委員	佐藤宏美	西当別小学校
委員	小笠原正恵	当別中学校
委員	鈴木英和	西当別中学校
委員	堀田則子	絵本交流会
委員	栗栖由香	当小絵本読み聞かせ隊
委員	柳本晶子	当別子どもの本の研究会
委員	堀江三千代	NPO法人ゆめの種子トーペッ

[任期] 平成28年10月1日～平成30年9月30日

(10) 当別町スポーツ推進委員会

職名	氏名	分担事項
委員長	野口和之	野球、バスケットボール、ゴルフ、パークゴルフ、スナッグゴルフ
副委員長	浜上尚也	スキー、サイクリング、コーディネーション
委員	伊藤美穂子	水泳、ミニバレー、テニス、コーディネーション
委員	石澤ひとみ	陸上、ミニバレー、ドッジボール、コーディネーション
委員	日光正博	スキー、パークゴルフ、バレーボール、コーディネーション
委員	須藤豪	サッカー、コーディネーション
委員	木村純一	剣道、フライングディスク
委員	並川憲多	野球、サッカー
委員	栄木龍也	サッカー、軽スポーツ
委員	斉木隆義	陸上、野球
委員	中多美幸	ミニバレー
委員	石川美香	剣道、水泳、スキー、スケート
委員	田村直紀	ミニバレー、バドミントン
委員	菅野敬正	陸上、トライアスロン
委員	谷口洋人	陸上、ミニバレー

[任期] 平成30年5月1日～平成32年4月30日

## (11) 当別町少年指導センター

青少年健全育成協議委員	
氏名	関係機関・団体
冷川 裕美子	当別町民生児童委員協議会
荒井 静	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
鈴木 智明	当別町PTA連合会
吉野 裕宜	当別町子ども会育成連合会

[任期] 平成30年5月16日～平成31年4月23日

少年指導委員	
氏名	関係機関・団体
<b>【当別地区】</b>	
永井 克佳	当別小学校
本間 哲善	当別中学校
幡野 洋	当別高等学校
佐藤 政彦	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
斉藤 義則	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
荒井 静	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
棒田 克幸	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
向井 久美子	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
石澤 ひとみ	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
森川 充之	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
岩渕 博之	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
佐藤 護	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
長谷川 廣美	当別町民生児童委員協議会
鰐渕 真太郎	当別小学校PTA
西村 雅章	当別中学校PTA
熊谷 宜樹	北栄町育成会
澤田 文子	栄町育成会
後藤 尚範	元町育成会
<b>【太美（西当別）地区】</b>	
岩崎 晋也	西当別小学校
村上 直史	西当別中学校
山上一郎	当別町民生児童委員協議会
藤田 力	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
鈴木 章造	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
宮本 勝則	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
川嶋 淳	北海道札幌方面北警察署少年補導員当別支部
須藤 孝明	西当別小学校PTA
明石 実	西当別中学校PTA
宮本 隆幸	太美北育成会
宇野 さやか	スウェーデンヒルズ育成会
山田 佳秀	当別太ビトエ川下育成会

[任期] 平成29年5月26日～平成31年5月25日

## (12) 当別町子ども・子育て会議

氏名	区分	所属
金澤潤一郎	第1号委員	学識経験 北海道医療大学
渡邊久徳	第1号委員	学識経験 当別町小中学校長会
難波雅美	第2号委員	関係団体 当別町民生児童委員協議会
五十嵐京湖	第2号委員	関係団体 当別町ふとみ保育所
砂田敦子	第2号委員	関係団体 当別夢の国幼稚園
齋藤直子	第2号委員	関係団体 社会福祉法人 ゆうゆう
吉野裕宜	第3号委員	保護者 当別町PTA連合会
瀬戸郁裕	第3号委員	保護者 当別夢の国幼稚園PTA
上杉堯央	第3号委員	保護者 当別町ふとみ保育所父母会
明石実	第4号委員	公募
辻野浩	第4号委員	公募
高橋昭大	第4号委員	公募
津崎弘樹	第4号委員	公募

[任期] 平成29年10月1日～平成31年9月30日

## (13) 当別町要保護児童対策地域協議会

氏名	区分	所属
山下勝也	行政	当別町福祉部保健福祉課
辻野幸一	行政	当別町福祉部介護課
北村和也	行政	当別町教育委員会学校教育課
小出真二	行政	当別町教育委員会社会教育課
渡辺典子	行政	北海道中央児童相談所
岩本泉	行政	北海道石狩振興局保健環境部
武岡則夫	学校	当別町小中学校長会
吉野裕宜	学校	当別町PTA連合会
五十嵐京湖	保育所	当別町ふとみ保育所
砂田敦子	認定こども園	当別夢の国幼稚園
袴田万紀子	民生委員児童委員	当別町民生児童委員協議会
堀内教子	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
橋本俊一	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
宮崎直高	人権擁護委員	当別町人権擁護委員
宮崎敏明	警察	札幌方面北警察署
前田史郎	医療機関	江別医師会当別ブロック

[任期] 平成29年4月1日～平成31年3月31日

## ▶ 4 教育関係各種団体

### (1) 当別町文化協会 加盟団体

平成30年6月1日現在

区分	団体名	会員数
民謡	當香会	16
詩吟	当別詩吟の会	7
	日本詩吟学院岳風会 太美道場	5
琴	大正琴ポピーの会	9
	さくら琴の会	3
舞踊	西川流舞踊教室 当別鯉延会	12
	正派菊乃流菊ゆう会	6
	ひょっとこ踊り 玉福	4
洋舞	フラメンコ・ミ・アイレ	4
	子供の為のジャズダンスサークルSKIP	22
	アロハフラーズ	13
	花舞	13
音楽	当別町カラオケ連合会	64
	西当別カラオケ愛好会	21
	太美カラオケ愛好会	16
	東裏カラオケ愛好会	11
	レディース・ハーモニー	14
	当別混声合唱団 パストラルクワイヤ	30
	チェリーベル	6
	当別アンサンブルファミリー	32
	おじさんバンド カントリーOJB	10
	プア ピリカ アンド パル	6
	オカリナサークル エーデルワイス	6
郷土芸能	当別音頭を守る会	156
	とうべつ太鼓保存会	4
	とべのすけ すずめ踊り隊	20
茶華道	当別華道連盟	9
	当別裏千家茶道同好会	8
	西当別茶道教室	10
	いけ花 池坊	8
書道絵画	彩苑書道会	10
	太美書道教室	12
生活文化	当別写真同好会	6
	末田手芸教室	21
	クレイ.クラフト.フラワー	2
	アートフラワー長谷川	5
	和裁サークル	7
	パッチワークサークル	4
	藍染サークル遊染	6
	北石狩農業協同組合女性部西当別ブロック	3
	ぽかゆるたいむ	4
	太美ヨガサークル	15
	日本棋院当別支部	24
文芸	当別短歌会	7
合計		44団体 671名

## (2) 当別町体育協会 加盟団体

平成30年6月1日現在

当別町体育協会 加盟団体			
		平成30年6月1日現在	
協会・連盟名	会員数	協会・連盟名	会員数
陸上競技協会	65	スキー連盟	50
軟式野球連盟	122	サッカー連盟	50
バレーボール協会	28	相撲国技会	25
弓道連盟	11	ソフトボール協会	18
卓球協会	100	テニス協会	28
バスケットボール協会	280	バウンドテニス協会	38
剣道連盟	97	ミニバレー協会	25
柔道連盟	7	パークゴルフ協会	220
		合計 16 団体	1,164 名

## (3) 当別町子ども会育成連合会 加盟団体

平成30年6月1日現在

地区名	会員数	会員世帯数	地区名	会員数	会員世帯数
幸町	休会		樺戸町	7	5
北栄町	25	18	東裏	14	12
アウル	78	60	蔵岱	休会	
西町	82	40	若葉	休会	
元町	13	7	川下	休会	
緑町	13	10	太美北	休会	
東町	休会		太美寿	休会	
春日町	35	20	太美東	27	11
栄町	23	17	太美西	休会	
下川町	休会		太美中央	休会	
六軒町	休会		太美南	9	5
弁華別	休会		当別太ビトエ川下	10	5
茂平沢	休会		虹の子	休会	
みどり野	12	8	スウェーデンヒルズ	87	51
中小屋	休会		スターライト	54	41
金沢	休会				
			合計 15 地区	468 名	310 世帯

## (4) 当別町女性団体連絡協議会 加盟団体

平成30年6月1日現在

所 属	会員数
生活改善実践グループ	33
当別音頭を守る会	147
合計 2 団体 180 名	

➤ 5 指定文化財一覧

平成30年6月1日現在

指定番号	品名	種別	指定・登録年月日	所在場所	摘要
1	伊達綱宗画筆対三幅	有形文化財	S 50.7.5	元町 伊達美知子氏が所有	伊達綱宗(寛永17年1640～正徳元年没1711年)66才(宝永2年1705年)の画いたもので伊達正人が明治25年(1892年)三位男爵を賜りし折仙台伊達家本藩より御肴料1万足1折と共に拝領いたしたものの。 左…柏雉子 中…太公望 右…芦鴛鴦 【縦 214 c m 横 60.5 c m】
2	打掛(紫色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永年間の初め(1704年～1707年)冷泉中納言為清女伊達家3代村泰公へ御入嫁の際お持ちしたものの。
3	振袖(赤色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	享保年間(1716年～1725年推定)冷泉家中納言為綱女伊達家4代村緝公へ御入嫁の際お持ちしたものの。
4	打掛(白色)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
5	長はかま及び着物	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	宝永4年生(1707年)～寛永元年没(1748年)伊達家5代村緝公が着用したものの。 (長はかまは近衛家より拝領品)
6	のしめ(室内着)及び帯	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	文化6年生(1809年)伊達家9代義監公が着用したものの。
7	陣羽織	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	天保5年生(1834年)～明治24年没(1891年)伊達家10代邦直公が着用したものの。
8	火事装束	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
9	子供用綿入れ(2組)	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	文久2年生(1862年)～伊達家11代基理公が着用したものの。 (慶応、明治初期1825～1872年)
10	子供用単衣	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別伊達記念館	同上
11	当別開拓の図	有形文化財	S 50.7.5	元町 当別神社	伊達邦直公一行が当別の開拓を行っている状況を描いたもの。 (岩出山出身 正蘭氏筆) 【縦 68 c m 横 110.5 c m】
12	史蹟伊達邸別館	有形文化財	S 51.11.11	元町	明治13年建築 木造二階建 89.16㎡
13	当別音頭	無形文化財	H25.3.27	当別音頭を守る会が所有	当別音頭は、昭和45当別町開基100年を記念してつくられた踊りで、その歌詞は当別の情景と輝く未来に向けての希望を歌っている。

## ➤ 6 教育の沿革

年号	できごと
明治 5年	・旧仙台岩出山藩主伊達邦直公が家臣とともに当別の地に移住
6年	・邑則により鮎田如牛が私塾を開設（当別小学校の前身）
12年	・鮎田如牛塾が当別教育所となる（鮎田如牛を教師に任じる）
13年	・下川通に校舎を建築し当別教育所を当別学校と改称（1棟35坪2階建・児童数60名）
19年	・当別小学校が当別簡易小学校に名称変更
24年	・学務委員を1名任命（現在の教育委員に相当） （明治33年には5人制、35年には議会より5人、公民権を持つ者から3人、教員より2人の10人制となる）
25年	・弁華別小学校が後の当別尋常小学校の分教場として創立
26年	・当別簡易小学校を当別尋常小学校と改称、修業年限4年制となる
29年	・太美小学校が当別尋常小学校第三分教場として創立 ・当別尋常小学校に修業年限2年の高等科を併置し当別尋常高等小学校とする （明治31年には高等科を3年に、32年には4年に変更）
32年	・金沢小学校が当別尋常高等小学校第三分教場として創立
33年	・中小屋小学校が当別尋常高等小学校第四分教場として創立 ・獅子内小学校が当別尋常高等小学校第五分教場として創立
34年	・青山小学校が青山簡易教育所として創立 ・青山中央小学校が青山奥簡易教育所として創立 ・当別高岡小学校が当別尋常高等小学校第六分教場として創立
35年	・戸長役場制から二級町村制へ移行 ・東裏小学校が東裏簡易教育所として創立
37年	・川下小学校が当別尋常高等小学校出張所として創立
38年	・弁華別小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置 （14歳以上の実業に従事している青年を対象に開設された後の青年学校、夜間学校）
39年	・当別尋常高等小学校の新校舎が現在の元町102番地に落成、移転 ・太美小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
40年	・二級町村から一級町村へ昇格 ・小学校令改正に伴い尋常科は義務制で6年、高等科は2年制となる （明治42年には高等科は3年制に変更） ・青山小学校と青山中央小学校に農業補習学校（実業補習学校）を併置
41年	・二股小学校が二股教育所として創立
42年	・三番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）三番川特別教授場として創立 ・四番川小学校が当別第三尋常小学校（青山中央小学校）四番川特別教授場として創立
43年	・当別小学校が北海道での優良校として表彰を受ける
44年	・蕨岱小学校が当別尋常高等小学校蕨岱特別教授場として創立
45年	・全町の児童数1,920人、教員数45人
大正 4年	・材木沢小学校が当別尋常高等小学校材木沢分校として創立
7年	・当別尋常高等小学校他5校に実業補習学校（農業補習学校）を併設
8年	・実業補習学校（農業補習学校）を3校増設し13校とする
9年	・当別小学校改築工事完成（工事費13万円・建物面積3,762㎡、普通教室24、特別教室6 （裁縫作法室、音楽室、理科室、標本器具室など）、暖房はペチカ方式を採用）
14年	・三番川小学校を四番川小学校に併合し一時閉校とする
昭和 9年	・札沼線当別一札幌間開通
10年	・青年学校令が公布され四番川小学校を除く各小学校に併設される（実業補習学校と青年訓練所を統合）
16年	・小学校が国民学校と改められる（1学級あたりの児童数が増え初等科60人以下、高等科50人以下となり、昭和19年にはそれぞれ75人、65人まで認められるようになる）
21年	・社会教育委員として10名が北海道庁長官から委嘱される（昭和24年社会教育法制定に

昭和 21 年	より解任、25 年より当別町教育委員会から委嘱) ・ 体育指導委員として 7 名が北海道庁長官から委嘱される (昭和 36 年よりスポーツ振興法が施行され当別町教育委員会から委嘱)
22 年	・ 当別村から当別町へ昇格 (町制施行) ・ 学制改革により 6・3・3 制に移行し国民学校を小学校と改称、青年学校は廃止される ・ 四番川小学校が全焼、新校舎落成 ・ 当別中学校が当別小学校に併置され創立 ・ 弁華別中学校が弁華別小学校に併置され創立 ・ 青山中央中学校が弁華別中学校青山中央分校として青山中央小学校に併置され創立 ・ 中小屋中学校が当別中学校中小屋分校として中小屋小学校に併置され創立 ・ 西当別中学校が獅子内小学校に併置され創立 ・ 四番川中学校が弁華別中学校四番川仮分校として四番川小学校に併置され創立 ・ 当別町体育連盟が組織される (昭和 34 年に体育協会に改組)
24 年	・ 第 1 回当別町成人式举行 ・ 当別高校が道立江別高校定時制当別分校として創立
25 年	・ 当別高岡中学校が西当別中学校高岡分校として当別高岡小学校に併置され創立
26 年	・ 獅子内小学校全焼 ・ 太美小学校と獅子内小学校を統合し西当別小学校を創立 ・ 三番川小学校が四番川小学校分教室として再発足
27 年	・ 当別町教育委員会発足 (公選により 4 人、町議会から 1 人の計 5 人が任命され、互選により山田茂氏が初代委員長、杉本初雄氏が副委員長に決定)
28 年	・ 二股中学校が青山中学校二股分校として二股小学校に併置され創立 ・ 三番川中学校が弁華別中学校四番川分校三番川分室として三番川小学校に併置され創立
31 年	・ 法改正により教育委員の公選制を廃止し町理事者推薦制となる ・ 当別町教育目標を設定し公表
38 年	・ 当別町公民館が当別町体育館として完成 (工事費 3,855 万円・建物面積 1,322 m <sup>2</sup> ・体育室、個別訓練室、柔道室、剣道室)
39 年	・ 町立当別高等学校 (昭和 36 年発足・全日制、定時制併置) が道へ移管され道立となる ・ 当別小学校に特殊学級「いなほ学級」を設置 (1 学級・児童 10 名・教員 2 名) ・ 当別町青少年問題協議会発足 ・ 当別町相撲場完成 (面積 64 m <sup>2</sup> ・屋根付き)
40 年	・ 当別町立幼稚園が当別小学校に併置され創立 ・ 材木沢小学校を閉校し当別小学校に統合 ・ 当別町体育総合道場完成 (工事費 280 万円・建物面積 201.5 m <sup>2</sup> ・柔道、剣道、重量挙、弓道の道場として活用)
41 年	・ 当別中学校に特殊学級「ときわ学級」を設置 (1 学級) ・ 当別町学校水泳プール完成 (工事費 751 万円・規模：児童生徒用 25m×15m×1.2m、幼児用 10m×10m×0.6m)
42 年	・ 四番川中学校を閉校し青山中央中学校に統合 ・ 伴志ずえ奨学金運営委員会発足 ・ 当別町中学校発足 20 周年記念式典举行
43 年	・ 青山小学校が教育大学札幌分校の協力校として委嘱を受ける (47 年までの 4 年間) ・ 当別高岡中学校を閉校し西当別中学校に統合
44 年	・ 当別中学校を現在の下川町 125 番地に移築 (工事費 20,500 万円・建物面積 5116.61 m <sup>2</sup> ) ・ 当別小学校屋内体育館改築 (工事費 2,293 万円・建物面積 912 m <sup>2</sup> )
45 年	・ 開基 100 年記念祝典及び記念諸行事開催 ・ 当別町開拓郷土館完成 (工事費 1,417 万円・建物面積 337.48 m <sup>2</sup> ) ・ 当別町公民館世紀分館完成 (工事費 410 万円・建物面積 165 m <sup>2</sup> ・会議室、和室 3 室) ・ 当別町青少年会館完成 (工事費 1,474 万円・建物面積 448 m <sup>2</sup> ・体育室、集会室、和室、厨房兼実習室等) ・ 当別町栄公園テニスコート完成 (2 面・面積 1,330 m <sup>2</sup> )
46 年	・ 三番川小中学校を閉校し青山中央小中学校に統合 ・ 当別町弓道場完成 (面積 224 m <sup>2</sup> ・射的場)

昭和 46 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町西当別プール完成（工事費 1,537 万円・規模：競泳 25m×10m×1.2m、低学年用 10m×5m×0.7m、児童用 5m×5m×0.4m）</li> <li>当別小学校校舎改築（46 年 1 期工事、47 年 2 期工事・総工事費 26,000 万円・建物面積 4,857 m<sup>2</sup>）</li> </ul>
47 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別幼稚園園舎新築（工事費 2,385 万円・建物面積 580 m<sup>2</sup>）</li> <li>当別町中小屋スキー場完成（工事費 434 万円・総面積 11,719 m<sup>2</sup>）</li> </ul>
48 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>四番川小学校を閉校し青山中央小学校に統合</li> </ul>
49 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>中小屋スキー場にジャンプ台設置（工事費 140 万円・総面積 2,400 m<sup>2</sup>・25m級ジャンプ台）</li> <li>当別町青山中央プール完成（工事費 1,855 万円・規模：25m×10m・上屋付）</li> </ul>
50 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>青山小学校を閉校し弁華別小学校に統合</li> <li>二股小中学校を廃止し青山中央小中学校に統合</li> <li>当別町立幼稚園を「当別幼稚園」と「鉄北幼稚園」に分離新設（工事費 5,325 万円・建物面積 612 m<sup>2</sup>・4 月から完成までの間は旧青山小学校校舎を利用）</li> <li>東日本学園大学が当別町金沢に薬学部を開設（53 年歯学部及び附属病院開設、59 年歯科衛生士専門学校開設、60 年教養部を音別町から移転、平成 5 年看護福祉学部開設、6 年校名を北海道医療大学に変更）</li> </ul>
51 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町社会教育指導員設置</li> </ul>
52 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町中学校発足 30 周年記念式典挙行</li> <li>当別町第 2 プール完成（工事費 2,600 万円・規模：25m×10m・上屋付）</li> <li>当別町若葉球場完成（工事費 6,300 万円・総面積 12,133 m<sup>2</sup>）</li> <li>当別町青少年センター完成（工事費 4,434 万円・建物面積 351 m<sup>2</sup>・集会室、図書室兼視聴覚室、娯楽室兼遊戯室、和室、厨房兼実習室）</li> <li>青山中央小中学校新校舎完成</li> </ul>
53 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町南部地域会館完成（建物面積 227 m<sup>2</sup>・研修室、会議室、和室、厨房室）</li> <li>中小屋中学校新校舎完成</li> </ul>
54 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町体育協会創立 20 周年記念式典挙行</li> <li>当別町東裏プール完成（工事費 1,955 万円・規模：20m×10m）</li> <li>当別町若葉サッカー場完成（1 面・面積 7,000 m<sup>2</sup>）</li> <li>当別町若葉テニスコート完成（2 面・面積 1,368 m<sup>2</sup>）</li> </ul>
56 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町弁華別プール完成（工事費 3,090 万円・規模：25m×10m）</li> <li>当別町阿蘇公園少年野球場完成（工事費 1,350 万円・面積 6,590 m<sup>2</sup>）</li> </ul>
57 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別ロータリークラブ奨学金制度発足</li> <li>当別町中小屋プール完成（工事費 2,982 万円・規模：25m×10m）</li> <li>当別町しらかばテニスコート完成（工事費 2,297 万円・4 面・面積 5,100 m<sup>2</sup>）</li> <li>当別伊達記念館完成（工事費 3,654 万円・建物面積 161.59 m<sup>2</sup>・開拓資料展示）</li> <li>伊達邸別館完成（移転工事費 515 万円・建物面積 92.53 m<sup>2</sup>・復元資料展示・明治 13 年建築）</li> </ul>
59 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町教育奨励賞制定</li> <li>当別町栄公園テニスコート（全天候型）完成（工事費 2,270 万円・全天候型 2 面・面積 1,330 m<sup>2</sup>）</li> </ul>
60 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別川河川公園ゲートボール場完成（4 面）</li> </ul>
62 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町スポーツ賞制定</li> </ul>
63 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別小学校に「ことばの教室」開級（1 学級認可）</li> </ul>
平成 元年	<ul style="list-style-type: none"> <li>金沢小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>当別町総合体育館完成（総工事費 12 億 9,000 万円・敷地面積 10,802 m<sup>2</sup>・建物面積 4,287.94 m<sup>2</sup>・アリーナ、弓道場、格技場、ランニングコース、トレーニングルーム）</li> <li>当別町体育協会創立 30 周年記念式典挙行</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別町きららパークゴルフ場完成（8 ホール、平成 3 年 4 ホール増設）</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別高岡小学校を閉校し西当別小学校に統合</li> <li>当別町少年指導センターを当別町公民館内に設置（専任指導員 2 名配置）</li> <li>当別町母子通園センター「ゆりのこ」開園</li> <li>当別町屋内ゲートボール場完成（建物面積 910.8 m<sup>2</sup>・鉄骨及び膜構造・2 面）</li> </ul>
4 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>当別小学校水泳プール完成（全面改築・総工事費 2 億 3,460 万円・建物面積 1,103 m<sup>2</sup>・規模：一般用 25m×17m、低学年用 他）</li> <li>学校週 5 日制スタート</li> <li>当別町学校体育施設開放事業開始</li> </ul>

平成5年	・当別川河川緑地パークゴルフ場完成（18ホール、現在の当別町フラワーパークゴルフ場）
6年	・当別町東裏地域会館完成（工事費3,700万円・建物面積244㎡・調理実習室、和室、大会議室、研修室）
7年	・当別町学校給食センター完成（工事費8億3,039万円・鉄筋・鉄骨コンクリート造・ドライシステム、8年1月より全13校で給食開始） ・少年の国内研修事業、婦人の国内研修事業開始
8年	・中小屋小学校が火災により焼失
9年	・西当別コミュニティセンター完成（工事費9億5,795万円・敷地面積4,949㎡・建物面積2,068㎡・鉄筋コンクリート造・アリーナ、大会議室、会議室、研修室、和室、調理室、図書室） ・当別町中学校開校50周年記念式開催
10年	・中小屋小学校新校舎完成（工事費3億576万円・総床面積1,105㎡・普通教室3、特別教室2、多目的ホール）
11年	・当別町生涯学習推進計画策定 ・当別町公民館世紀分館改築（工事費3,150万円・総床面積182.25㎡・集会室2室、洋室、和室、厨房）
12年	・青山中央小中学校を閉校し弁華別小学校、弁華別中学校に統合（宿泊研修施設「青山交流館」として供用開始） ・当別町青山中央プール廃止
13年	・当別町適応指導教室設置 ・学校評議員制度開始 ・当別町少年指導センターを子どもハウス内に移転
14年	・当別町子ども議会開催 ・当別町歴史ボランティア設置
15年	・文部科学省モデル地域事業「NPO等と学校教育との連携の在り方」についての実践研究事業実施（15～16年度） ・伴志ずえ奨学金制度廃止 ・当別町少年指導センターを当別町公民館内に移転 ・当別町東裏地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町南部地域会館を地域集会施設として財政課に移管 ・当別町第2プール廃止 ・当別町東裏プール廃止 ・当別町中小屋プール廃止
16年	・川下小学校を閉校し当別小学校に統合 ・文部科学省地域子ども教室推進事業 当別町地域子ども教室「サタデーキッズスクール」開始 ・当別町第2次生涯学習推進計画策定
17年	・中小屋中学校を閉校し当別中学校に統合 ・当別町文化賞制定
18年	・中小屋小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別幼稚園と鉄北幼稚園を統合（鉄北幼稚園の園舎を使用し園名は当別幼稚園） ・当別中学校、弁華別中学校が「北海道キャリア教育実践プロジェクト指定地域」（18年度）となる ・国立教育政策研究所委嘱事業「小・中連携教育実践研究事業」実施（18～19年度、西当別小・西当別中） ・子ども待機スペース交流活動推進事業「オアシス」開始
19年	・当別町弁華別プール廃止 ・蕨岱小学校を閉校し当別小学校に統合 ・当別町西当別プール廃止 ・旧農村環境改善センターを転用し白樺コミュニティセンターとして設置 ・当別町少年指導センターを当別町総合体育館内に移転 ・当別町青少年会館をプレイハウスとして子育て推進課に移管 ・弁華別中学校が(社)国土緑化推進機構主催平成18年度全日本学校関係緑化コンクール「学校林等活動の部」農林水産大臣賞受賞 ・公民館図書室を当別町学習交流センター（旧当別町青少年センター）へ移転し“ふくろう図書館”として開設

平成 19 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町公民館及び開拓郷土館廃止</li> <li>・当別町特別支援教育推進サポート組織設置</li> <li>・「子どもの健全育成サポートシステム」開始</li> </ul>
20 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東裏小学校を閉校し当別小学校に統合</li> <li>・当別町少年指導センターを白樺コミュニティーセンター内に移転</li> <li>・当別総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会発足</li> <li>・地域子ども教室「わくわくキッズ」開始</li> <li>・当別町学校支援地域本部事業開始</li> </ul>
21 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町総合体育館アリーナ床補修工事</li> <li>・当別町女性団体連絡協議会創立 40 周年記念式典挙行</li> <li>・第 3 次当別町生涯学習推進計画策定</li> <li>・白樺コミュニティーセンター多目的ホール床等改修工事</li> <li>・当別町文化協会創立 40 周年記念式典挙行</li> <li>・当別小学校水泳プール改修工事</li> </ul>
22 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町体育協会創立 50 周年記念式典挙行</li> <li>・当別総合型地域スポーツクラブ設立</li> <li>・当別町子どもの読書活動推進計画（5 ヶ年計画）策定</li> <li>・当別町 140 年記念式典及び記念諸行事開催</li> <li>・当別小学校校舎・当別中学校校舎及び体育館・西当別中学校体育館耐震補強工事</li> <li>・町内各小学校でフッ化物洗口事業を開始（1 年生から年度毎に 1 学年ずつ拡大）</li> </ul>
23 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立当別幼稚園を閉園し園舎を解体</li> <li>・社会福祉法人高陽福祉会が認定こども園当別夢の国幼稚園を開園</li> <li>・適応指導教室を白樺コミュニティーセンターに移転</li> <li>・当別町家庭教育の手引き発刊</li> </ul>
24 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別小学校体育館落成（工事費 2 億 8,896 万円・総床面積 983 m<sup>2</sup>・鉄骨造一部鉄筋コンクリート造・アリーナ、ステージ、器具庫 3 室、放送室、トイレ、更衣室、昇降口、渡り廊下）</li> <li>・栄町教職員住宅解体工事</li> <li>・当別町立小・中学校で 2 学期制を導入</li> <li>・当別プレイハウスが当別小学校内に移転</li> <li>・当別中学校音楽教室外壁が体育館からの落雪により破損し、同年修繕</li> <li>・弁華別中学校屋内体育館屋根が強風により破損し、同年復旧</li> <li>・西当別中学校校舎屋根改修</li> </ul>
25 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「当別音頭」を当別町無形文化財に指定</li> <li>・西当別中学校教員住宅解体</li> <li>・当別小学校北校舎トイレ改修工事</li> <li>・当別中学校トイレ改修工事</li> <li>・西当別中学校屋内体育館大規模改修工事</li> <li>・西当別中学校給水設備改修工事</li> </ul>
26 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第 4 次当別町生涯学習推進計画策定</li> <li>・教育委員会管理課に一貫教育推進係を新設</li> <li>・土曜学習会の開始</li> <li>・西当別プレイハウスが西当別小学校内に移転</li> <li>・西当別小学校の重油配管から油漏洩、同年配管を改修</li> <li>・当別町いじめ防止基本方針策定</li> </ul>
27 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当別町小中一貫教育に関する取組基本方針策定</li> <li>・当別町子ども発達支援センター完成</li> <li>・当別町子どもの読書活動推進計画（第 2 次計画）策定</li> <li>・家読の日を制定（毎月 23 日）</li> <li>・町内各小学校のフッ化物洗口事業を 1 年生から 6 年生まで実施</li> <li>・放課後学習会の開始</li> <li>・文部科学省委託事業「小中一貫教育推進事業」実施（平成 27～29 年度）</li> <li>・各小・中学校へ電子黒板を配置</li> </ul>
28 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁華別小学校を閉校し当別小学校に統合</li> </ul>

<p>平成 28 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 弁華別中学校を閉校し当別中学校に統合</li> <li>・ 当別町社会体育施設（当別町総合体育館、白樺コミュニティーセンター、当別小学校水泳プール）に指定管理者制度を導入</li> <li>・ 教育委員会事務局に子ども未来課を新設し、就学前の子どもに関する業務を福祉部から移管</li> <li>・ 教育委員会社会教育課に町史編纂係を新設</li> <li>・ 当別町いじめ問題調査委員会条例制定及び設置</li> <li>・ 町内各中学校でフッ化物洗口事業を開始（1年生から年度毎に1学年ずつ拡大）</li> <li>・ 西当別小学校教員住宅解体（2棟2戸）、弁華別小学校教員住宅解体（2棟2戸）</li> <li>・ 各中学校の全学年へデジタル教科書を配置（国語・数学・理科・社会・英語）</li> <li>・ (有)鋼営工業から120万円の目的寄付を採納し、西当別中学校のバスケットボードを改修</li> </ul>
<p>29 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当別町通学路安全推進連絡会議設置要綱制定及び設置</li> <li>・ 中学校併設型小学校及び小学校併設型中学校として小中一貫教育の実施（当別小学校－当別中学校、西当別小学校－西当別中学校）</li> <li>・ 当別・西当別両中学校区で学校運営協議会発足</li> <li>・ 「こころのふれあい通学合宿」が文部科学大表彰受賞</li> <li>・ 西当別小学校校舎屋根改修工事（工事費19,980千円、設計額626千円、昭和57年築校舎、木軸屋根→無落雪屋根）</li> <li>・ 各小学校の3～6年生へデジタル教科書を配置（国語・算数）</li> </ul>

## ➤ 7 統計データ

### 1 小中学校施設の概況

学校名	校舎構造	校舎面積 (㎡)	屋体面積 (㎡)	校地面積 (㎡)	校舎建設年	屋体建設年
当別小学校	RC	4,922	983	20,967	昭和46年	平成24年
西当別小学校	RC	4,351	702	15,789	昭和57年	昭和58年
小学校合計		9,273	1,685	36,756		
当別中学校	RC	4,234	950	43,310	昭和44年	昭和44年
西当別中学校	RC	3,839	678	28,749	昭和55年	昭和54年
中学校合計		8,073	1,628	72,059		
小中合計		17,346	3,313	108,815		

※RC：鉄筋コンクリート造

### 2 児童生徒数の推移

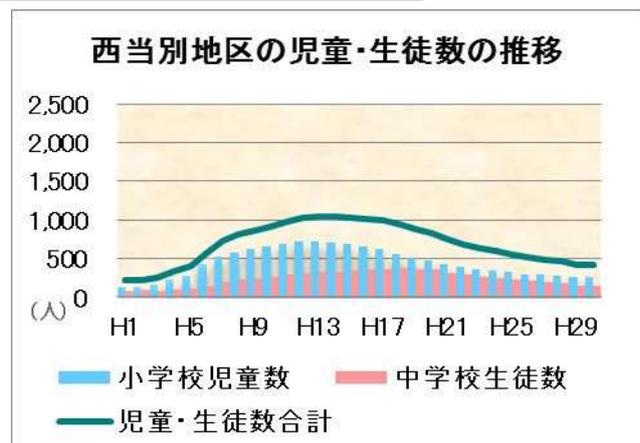
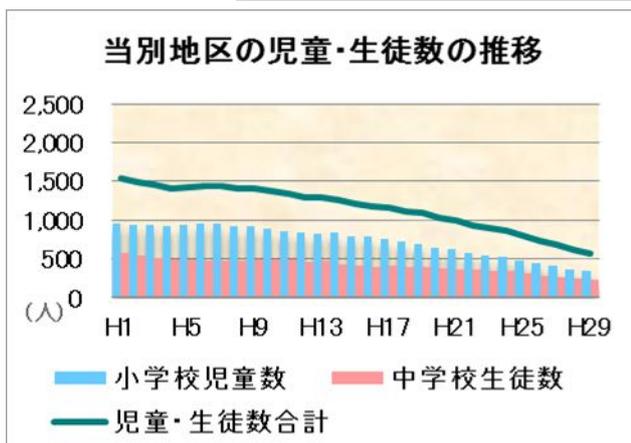
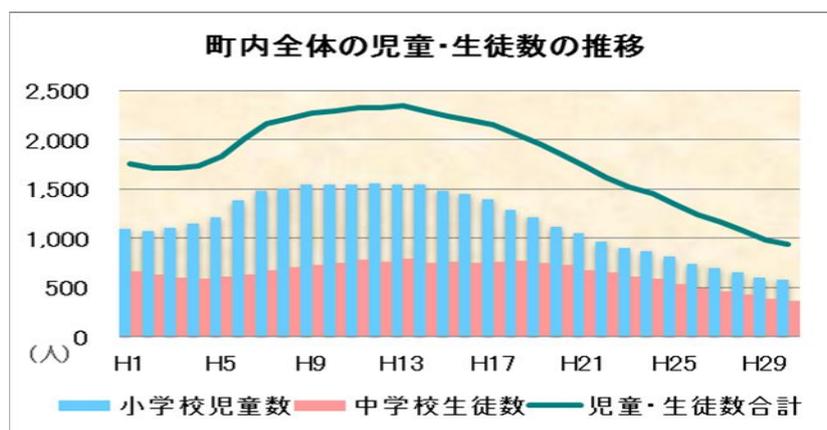
#### ◆ 小学校児童数

年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
26	100	116	116	128	134	148	742
27	109	99	113	112	134	134	701
28	103	104	91	114	110	128	650
29	72	107	105	90	114	111	599
30	78	72	109	111	91	117	578

#### ◆ 中学校生徒数

年度	1年	2年	3年	計
26	158	159	178	495
27	140	160	160	460
28	131	138	161	430
29	119	132	136	387
30	108	119	135	362

各年5月1日現在（単位：人）



### 3 各学校統合年の一覧

#### ◆ 小学校

	学校名	統合年の一覧	
当別小学校	当別小		
	東裏小		H20
	蕨岱小		H19
	中小屋小		H18
	川下小		H16
	金沢小		H1
	材木沢小	S40	
	弁華別小		H28
	青山小	S50	
	青山中央小		H12
	二股小	S50	
	四番川小	S48	
	三番川小	S46	
	西当別小学校	西当別小	
太美小		S26	
獅子内小		S26	
当別高岡小			H3

#### ◆ 中学校

	学校名	統合年の一覧	
当別中学校	当別中		
	中小屋中		H17
	弁華別中		H28
	青山中央中		H12
	二股中	S48	
	三番川中	S46	
	四番川中	S42	
西当別中学校	西当別中		
	当別高岡中	S43	

#### 4 就学援助の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	対象人数		117	127	118
	援助総額		7,843	8,882	8,005
中学校	対象人数		78	77	81
	援助総額		8,124	8,747	8,225
計	対象人数		195	204	199
	援助総額		15,967	17,629	16,230

#### 5 特別支援教育就学奨励費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	対象人数		11	7	9
	支給総額		389	225	236
中学校	対象人数		8	7	7
	支給総額		420	343	353
計	対象人数		19	14	16
	支給総額		809	568	589

#### 6 特別支援学級等通学援助費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	対象人数		45	46	40
	支給総額		253	241	287
中学校	対象人数		10	12	10
	支給総額		60	67	60
計	対象人数		55	48	50
	支給総額		313	308	347

7 コミュニティーセンター・文化施設等及び体育施設利用状況

白樺コミュニティセンター

年度\区分	小研修室	調理実習室	多目的ホール	大研修室	和室1	和室2・3	談話室	計	
27	件数	236	52	649	149	256	128	0	1,470
	人数	4,079	466	10,289	4,235	1,793	907	0	21,769
28	件数	255	53	665	212	222	83	1	1,491
	人数	3,672	1,040	15,041	4,150	1,709	992	9	26,613
29	件数	272	39	694	160	216	116	2	1,499
	人数	3,298	632	11,427	3,347	1,573	863	10	21,150

西当別コミュニティセンター

年度\区分	アリーナ	大会議室	和室	研修室	調理室	会議室	他(見学)	計	
27	件数	937	340	239	236	74	454	0	2,280
	人数	20,047	19,836	4,904	5,327	992	5,199	0	56,305
28	件数	979	367	126	197	61	380	0	2,110
	人数	20,806	11,735	3,296	3,335	562	3,096	0	42,830
29	件数	908	405	127	246	77	376	0	2,139
	人数	19,516	17,028	3,333	4,075	1,191	3,368	0	48,511

当別町学習交流センター“ふくろう図書館”

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
27	15,967	7,208	23,175	4,623	1,208	5,831	9,686	7,977	17,663
28	16,311	6,471	22,782	4,927	1,062	5,989	10,289	8,561	18,850
29	12,237	9,560	21,797	4,581	821	5,402	10,657	9,050	19,707

西当別コミュニティセンター図書室

年度	貸出実績(冊)			利用者数			蔵書数		
	一般	児童	計	一般	児童	計	一般	児童	計
27	15,068	5,478	20,546	4,415	1,006	5,421	8,401	7,806	16,207
28	17,035	5,837	22,872	4,409	1,081	5,490	8,807	8,172	16,979
29	11,093	10,337	21,430	4,234	1,169	5,403	9,069	8,483	17,552

## 世紀会館

年度\区分	洋室	集会室A	集会室B	和室	計	
27	件数	135	175	57	5	372
	人数	1,043	1,932	466	37	3,478
28	件数	142	170	44	2	358
	人数	937	1,943	449	10	3,339
29	件数	145	163	97	5	410
	人数	855	1,602	878	21	3,356

## 当別伊達記念館・伊達邸別館

年度	人数
27	1,669
28	1,229
29	1,592

## 当別町総合体育館

年度\区分	アリーナ	格技場	弓道場	トレーニングルーム	ランニングコース	計
27	件数	1,378	502	382		2,262
	人数	46,828	8,959	4,720	5,881	4,169
28	件数	1,348	878	323		
	人数	54,295	10,772	3,154	8,481	5,051
29	件数	1,337	668	254		
	人数	49,757	9,993	3,402	9,444	4,775

※トレーニングルーム、ランニングコースは個人利用のみ

## 8 ふとみ保育所利用状況

(各年3月31日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
27	12	12	9	18	17	26	94
28	6	16	15	11	18	17	83
29	11	10	21	15	11	21	89

## 9 子ども発達支援センター利用状況

年度\区分	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	障害児相談支援	特定相談支援	
27	人数	40	9	10	53	0
	件数	1,207	291	82	-	-
28	人数	42	5	12	44	0
	件数	1,218	194	65	-	-
29	人数	35	6	6	41	1
	件数	1,190	173	27	-	-

## 10 私立幼稚園助成費

【対象施設：学校教育法に基づく私立幼稚園（※新制度に移行した幼稚園を除く）】

### 就園奨励費補助金

補助金の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
対象幼児数	130	0	1
補助金交付額	16,296	0	80

## 1 1 教育・保育施設等助成費

【 対象施設：子ども・子育て支援新制度に移行した幼稚園・保育園・認定こども園 】

### (ア) 施設型給付費

施設型給付費の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
教育	対象児童数		2	122	139
	給付額		705	58,390	71,383
保育	対象児童数		93	72	80
	給付額		76,240	56,432	76,461
計	対象児童数		95	194	219
	給付額		76,945	114,822	147,844

### (イ) 特別保育事業補助金等

補助金等の状況（過去3カ年の推移）

（単位：人・千円）

区分		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
延長保育事業	実施施設数		2	2	2
	対象児童数		78	57	60
	補助金交付額		694	719	667
障がい児 保育事業	教育	対象児童数	4	5	6
		補助金交付額	3,852	4,819	5,845
	保育	対象児童数	4	5	3
		補助金交付額	7,762	8,945	5,549
	計	対象児童数	8	10	9
		補助金交付額	11,614	13,764	11,393
一時預かり事業 (一般型)	実施施設数		1	1	1
	対象児童数		23	25	29
	補助金交付額		2,460	2,897	2,525
一時預かり事業 (幼稚園型)	実施施設数		1	1	1
	対象児童数		77	66	65
	補助金交付額		2,028	2,123	2,474

平成30年度  
当別町の教育

平成30年6月発行

編集・発行：当別町教育委員会